

## 第 3 章 老人福祉事業報告

### 第 1 節 概 要

養護老人ホーム浴風園及び軽費老人ホーム松風園、浴風会ケアハウス（以下「3施設」という。）は、利用者の安心と自立支援の充実、明るく楽しい生活の場をめざし、利用者本位の施設経営に努めた。3施設は、各月100%の入居率を維持し、効率的な経営に努めた。なお、3施設とも利用者の高齢化に伴って病弱化、虚弱化が進行している。このため、利用者の体調変化については早めに察知できるようにケアワーカーと相談員及び看護師との連携強化を図ることや居室に各戸チャイム設置することなど気づき対策の工夫をした。

今後とも、利用者の健康の保持と豊かな日常生活の支援並びに介護予防の充実を図っていく。

#### 1 21年度の主な事業

- (1) 東京都民間社会福祉施設サービス推進費（都補助金）の減額は20年度で終了したところであるが、昨今の地方税収状況悪化に伴う不測の事態に備えて、引き続き諸経費の節減に努めた。また、利用者にも節減への理解を求めつつ、事業の効率的運営に努めた。（浴風園・松風園）
- (2) 3施設は、第三者評価を本年度も受審し、43頁の「5 第三者評価結果」のとおり良好な評価を受けた。なお、改善を要する点については、速やかに改善を図る方向で検討していく。
- (3) 感染症予防対策として、3施設において玄関に洗面台を設置し、手洗いの励行等予防に努めた。しかし、浴風園においては利用者17名、職員3名がノロウイルスに感染した。浴風会病院と連携を図りつつ、一定期間は外出を控え、クラブ活動を中止する等の緊急措置を図ったことにより、1か月で終息した。
- (4) 3施設の上下水道料金について、共同住宅扱いの適用を受けて7か月分で次のとおり節減出来た。（9月から適用 ・浴風園約△750万円、松風園約△670万円、ケアハウス約△360万円）
- (5) 利用者の本音の要望を把握してサービス向上を図る目的から、第三者評価機関と利用者代表の座談会を開催した。（松風園）

- (6) 全利用者の心身状況等について聞き取り調査を実施して独自の個別支援計画を作成した。(ケアハウス)
- (7) 「3施設職員提案制度」を46頁のとおり(別表1)実施した。

## 2 利用者の状況

(平成22年3月31日現在)

施設名	定員	利用者	平均年齢	平均在籍年数	入所者数	退所者数
浴風園	205	205	81.6	10	35	34
松風園	200	197	82.4	8.9	23	22
ケアハウス	100	100	82	8.4	9	9

## 3 要介護度の状況

施設名	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	名	名	名	名	名	名	名	名
浴風園	156	5	6	15	11	7	5	0
%	76.1	2.4	3.0	7.3	5.4	3.4	2.4	0.0
松風園	159	7	10	8	6	3	3	1
%	80.7	3.6	5.1	4.1	3.0	1.5	1.5	0.5
ケアハウス	73	8	12	4	2	0	0	1
%	73.0	8.0	12.0	4.0	2.0	0.0	0.0	1.0

## 4 資格保有状況

区分	浴風園	松風園	ケアハウス
総職員数	41	21	8
資格保有者数	34	22	6
保有率(%)	82.9	104.8	75.0
(内 訳)			
介護福祉士	13	10	3
社会福祉士	4	1	1
看護師	2	1	1
准看護師	1	1	0
ヘルパー1級	3	4	0
管理栄養士	1	1	1
調理師	8	委託	委託
介護支援専門員	(2)	(4)	(1)

\*契約職員を含む。介護支援専門員は再掲。

## 5 第三者評価結果

### (1) 概況

	浴風園	松風園	ケアハウス
評価時期	自 平成21年10月22日 至 平成22年3月1日	自 平成21年11月24日 至 平成22年3月12日	自 平成21年10月19日 至 平成22年1月8日
フィードバック	平成22年3月16日	平成22年3月31日	平成21年12月21日
評価機関	(株)日本生活介護	(NPO) シニアライフ情報センター	(株)ハンドワークス

### (2) 評価講評

	浴風園	松風園	ケアハウス
特によいと思う点	若手職員中心でこれまでの仕組みの積極的な見直しが行われている	密な連携により、同一敷地内で最後まで住み続けられる体制が整えられ、利用者に安心感を与えている	法人内各施設・部署との連携による相乗効果が大きい
	利用者の虚弱化に伴う介護予防支援への取り組み	利用者の意見に耳を傾ける積極名姿勢が伺える	サービスの改善・向上に向けた多様な利用者ニーズの把握の取り組み
	各階ごとに正副担当を導入し、より密度の濃い利用者支援に改めた。	地域と協働して連携する体制がある	歴史ある土壌に裏打ちされた職員の接遇
特に改善する必要があると思う点	マニュアルや研修成果の実践的確認が大切	事業所の方向性を明確にし、具体的な中・長期計画の策定が求められる	地域とのさらなる連携と交流を
	高齢化支援に伴う設備や組織全体としての支援のあり方	資料や記録の整理、分析を行い、日常生活に結び付ける対応が望まれる	利用者の実情に即した対応方法や夜間等職員不在時のさらなる対応方法の取り組みを
	利用者の心身の状況に合わせた活動メニューの検討	運営についての懇切丁寧な説明努力を期待する	入居者の高齢化による、認知症やADL低下への不安、改善策の準備を

### (3) 事業評価

事業評価項目	浴風園	松風園	ケアハウス
I 経営マネジメント項目			
1 事業所が目指していること（理念、基本方針）を明確化・周知している	A	A	A
2 経営層は自らの役割と責任を職員に対し表明し、事業所をリードしている	A	A	A
3 重要な案件について、経営層は実情を踏まえて意思決定し、内容を関係者に周知している	A	A	A
4 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理等を周知している	A	A	A
5 第三者評価の結果公表、情報開示等により、地域社会に対し透明性の高い組織である	A	A	A
6 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある	A	A	A
7 ボランティア受入れに関する基本方針を明確にし、体制を確立している	A	A	A
事業評価項目	浴風園	松風園	ケアハウス

8	地域の関係機関との連携を図っている	A+	A	A
9	利用者一人ひとりの意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応している	A+	A	A
10	利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	A	A+	A
11	地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している	A	A+	A
12	取り組み期間に応じた課題・計画を策定している	A	A	A
13	多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している	A	B	A
14	着実な計画の実行に取り組んでいる	A	B	A
15	利用者の安全確保・向上に計画的に取り組んでいる	A	A+	A
16	事業所にとって必要な人材構成にしている	A	A	A
17	職員の質の向上に取り組んでいる	A	A	A
18	職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	A+	A+	A
19	職員のやる気向上に取り組んでいる	A	A+	A
20	事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	A	B	A
21	個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	A	A	A
22	前年と比べ、成果が上がっている（リーダーシップと意思決定、社会的責任、計画と実行）	A+	A	A
23	〃（職員の組織の能力向上）	A+	A	A
24	〃（サービス提供のプロセスや情報保護・共有面の向上）	A	B	A
25	事業所の財務等において向上している	A+	A	A
26	前年と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している	A	A	A
II サービス提供のプロセス項目				
1	利用者等に対してサービスの情報を提供している	A	A	A
2	サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている	A	A	A
3	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	A	A	A
4	定められた手順に従いアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示	A	A	A
5	利用者の希望と関係者の意見を取り入れた個別支援計画を作成している	A	B	A
6	利用者に関する記録が行われ、管理体制が確立している	A	A	A
7	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している	A	A	A
8	利用者のプライバシー保護等個人の尊厳の尊重	A	A	A
9	サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している	A	A	A
10	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	A	B	A
11	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	A	B	A
12	さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	A	A	A
13	個別支援計画に基づいて自立生活が営めるよう支援している	A	A	A
14	食事は、利用者の状態や要望を反映したサービスを行っている	A	A+	A
15	入浴の支援は、利用者の状態や意思を反映して行っている	A	A	A
16	利用者が主体的に健康管理や介護予防に取り組むための支援体制を整えている	A+	A	A

17 日常生活では、利用者の状態や意思を反映した支援を行っている(食事・入浴以外)	A	A	A
18 利用者の生活が健康で明るくなるよう、施設の生活に工夫をしている	A	A	A
19 施設と家族との交流・連携を図っている	A	A	A
20 地域との連携をもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている	A	A	A

\* A+ : 標準項目を全て満たした上で事業所の理念・方針に合致し、事業所の独自性等が認められること。

A : 標準項目を全て満たしている。

B : 標準項目を1項目でも満たしていない。

C : 標準項目を全て満たしていない。

(別表1)

平成21年度 職員提案制度 《老人福祉事業》

浴風園・松風園・ケアハウス 提案項目一覧

【浴風園・ケアハウス】

施設・職	提案名	提案理由	提案内容	効果	備考	評価
浴風園 ケアワーカー	入浴支援時、脱衣籠に名札をつける。	衣類の間違い防止	材料費名札1枚当たり20円くらい。	間違いが無くなることにより、支援がスムーズに流れるようになった。		
浴風園 設備管理	喫煙所の撤去	1、施設内喫茶横に喫煙所を設置し換気扇を整備するも、煙漏れは防止できていない。 2、正面玄関横と裏口横に外用喫煙所があるが出入り口につき遠方に移設してほしい。	火災防止。受動喫煙防止。	火災防止。受動喫煙防止		
浴風園	てんぷら廃油のバイオ活用(車燃料)	エコ対策の一環	各施設の車で利用できればガソリンの節約に貢献できる。	家庭用廃油を無駄なく再利用することにより、環境保護・エコ対策として有効である。		
浴風園 ケアワーカー	男性用脱衣所の手すり設置。	安全な入浴のため。	1、男性用脱衣所入口からトイレの間の壁に手すりを設置する。 2、男性用脱衣所に女性脱衣室と同様に手すりを設置する。	シルバーカーや歩行器使用の方も安全に入浴が出来る。また、車椅子利用者も自力で立ち上がり出来る。		
浴風園 ケアワーカー	「太鼓の達人」の導入	Wiiを使用したレクが好評。更に対象者を拡大したい。	「太鼓の達人」ソフトを購入する。	認知症の方でも手軽に出来る。	ソフト+太鼓(2個)で11970円	
浴風園 ケアワーカー	インフルエンザ予防接種の動きの合理化	今までのやり方では無駄が多い。	予防接種は食堂1箇所で行う。	1、移動がなく、利用者にストレスを与えない。2、広いため並び易く順番も分かりやすい。		
浴風園 ケアワーカー	備品パジャマにネームをつける。	入院者用に備品を使用した場合、途中で洗濯した後、誰が使用していたか不明になってしまう。	アイロン貼り付け式ネームテープを張る。使用後は剥して他の方に利用出来る。	選択後、誰場整理しても分かり安くなった。		
浴風園 ケアワーカー	給茶ポットのお茶パックのつかみ方	現在の長箸では反ってしまつてつかみにくい。	トングを使用する。	つかみやすくなった。		
浴風園 ケアワーカー	カラープリンターの導入。	行事等の写真を即座にカラープリントできる。	新しいカラープリンターの導入。	今後検討。	* 現在既に導入されている機種が1機あるので、そのプリンターを取り敢えず有効活用されたい。	
ケアハウス	買物同好会の実施	1、ADL低下の原因でもある閉じこもり防止。2、歩行不安の方の買物支援の一環として。	1、職員が付き添い、近くのスーパー等へ買物に行く。 2、2～3名ならば車椅子での送迎も可。 3、月1回必ず実施する。	外出支援、歩行リハビリ、日用品購入等、複数ニーズに対応でき、利用者の評判も良い。	平成21年12月24日(木)第1回実施済み。今後継続していく。	
ケアハウス	電波時計の設置	館内時計の正確化	各階に設置し、時間のずれをなくす。	食事の時間が正確にわかるようになった。	電波時計1個2,990円×7個 = 20,930円	

松風園 ケアワーカー	居室玄関にチャイムを付ける	ドアをノックしても居室内に聞こえないことが多い	①居室内に居るのに音(ノック)が聞こえず、利用者が伝わらない。 ②マスターキーで開けると、疑う利用者がいる。(不審に思う人がいる)	連絡が容易につけやすい  不審者の件は、マスターキーで開けることがないので、疑いをかけられることがない		
松風園 ケアワーカー	園内研修会	職員全体の知識・技術のレベルアップを図る	①月一度一時間位の時間をとり、各セクションごとに課題をつくり、職員全体のレベルを上げる  ②ワーカーは介護技術についてテーマを決めて、色々な場面での介護技術を学び、医務は病気等に対する対応の仕方について発表し、相談員は業務の流れ、困難事例等を提案して、意見を話し合う  ③各セクションが他の業務内容も知ることによって、一体化(助け合い)がうまれるのではないか	職員全体の知識が上がることによって、日々の仕事内容のレベルもあがる。また、緊急時の対応もしっかりとできる		
松風園 ケアワーカー	網戸を新しくする	網戸の外れる回数が多い	①網戸がゆがんでいるため、虫が入ってくると言う苦情が多い  ②夏場は、1日2、3回位外れたりする。同じ利用者の方からの再修理の依頼がある	手間がかかるため、その時間を別のサービスにあてたい		
松風園 ケアワーカー	各居室にお湯が出る様になる	冬場の利便性	①清潔の保持(お風呂に入れない時など、居室で身体の清拭ができる)  ②毎日の洗顔や洗物などの利便性を考えて	清潔が保てる  お湯などを沸かし、火災や火傷の防止		

松風園 ケアワーカー	浴室・脱衣場の改善	浴室・脱衣場の清潔の保持  感染症の予防  建物が傷まない様にし、老朽化を防ぐ	①浴室の湯が脱衣室に流れ込まないように、施工する  ②浴室マットを介助と一般に分け、男女各二枚以上用意する	脱衣場の腐敗防止  漏電防止、感染症の予防		
松風園 ケアワーカー	家庭用個浴の設置	湿疹ができています方と同じ浴槽に入りたくないと苦情があった	①移動式浴槽の設置(個浴)  ②感染予防	利用者が安心して入浴できる  清潔の保持		
松風園 ケアワーカー	脱衣所及び浴室出入口の手摺り設置金具の取替え	転倒時の怪我予防・転倒予防浴室脱衣室の衣類棚の縁に金具が取り付けられており、転倒した場合には、大変危険である。頭部をぶつけた場合は大事故の可能性もある	①金具より前に出した形で手摺りを横に一本設置する  ②縁の金具を丸みを帯びたものに取り替える ③浴室の出入口に縦手摺りを取付する(男女)	手摺り設置の場合、転倒の予防効果が見込める。特に男性見守り浴は、人員配置ができない日があり、時々浴室を覗いて声掛けをしているのが現状です		
松風園 ケアワーカー	食堂の改善について	食堂床の経年劣化がひどく、見苦しく不衛生であると思います。古くなった為、足カバーの取れたパイプ椅子でこすれているのです。今よりもっと明るい床材(暖色系)に変	①食堂床材の張替え(暖色系Pタイルか明るいフローリング)  ②明るい色の椅子に買い換えてほしい(雰囲気良ければ気分まで明るくなる) ③テーブルクロス汚れが染み付き、目立っている。別な素材で変えてみたらどうか	明るくリニューアルされた食堂は、精神衛生上とても利用者にも良い影響を与える事になると思います  食事以外の時間でも、サロニックに使えると生活の活性化になると思います		
松風園 ケアワーカー	浴室の安全対策	入浴時の安全の為	①浴槽内の安全の為、浴槽に入りやすくする様に、手摺りを付ける ②洗い場を、タイル張りからクッション性が高く滑りにくい材質の物にする	浴槽から出入りの際、両手で掴まる物があつた方が身体を支えることができ、安全直接洗い場のタイルに座って、シャンプー等をする利用者も多く、石鹸水等で立ち上がる時滑りやすいので、転倒防止になると		
松風園 ケアワーカー	浴室及び脱衣室の改善	風の強い日に、落ち葉等が入ってくる  冬、寒気が入って来て風呂場が寒い	天窓を開閉できるようにする	風の強い日に、落ち葉等が入ってこなくなり、浴室、脱衣室が清潔に保てる 冬、寒気が入って来て来なくなり、寒い思いをしなくて良い		
松風園 事務員	自動ドアへの変更	正面玄関、風除け室内扉が重く、利用者が開閉することが負担である。特にシルバーカー利用者、手に荷物を持った方に負担が大きい。また、ドアを開放しておくと、冷暖房効果が低下する	正面玄関、風除け室内扉の自動ドアへの変更	冷暖房効果の増大(省エネ効果)  ドアノブに接触しない事での感染症リスクの減少		

松風園 看護師	ホワイトボード活用性の向上の工夫	掲示用紙(文字)の拡大化、以前は口頭伝達で可能だった事項でも、対象者の高齢化、理解力低下等により視覚伝達が必要ななどの理由により、掲示物が多くなりつつある。スペース確保の工夫が必要と考える	ホワイトボード全面が活用できるように、テーブルや書類の位置を移動する  利用者の動線や慣習がある為、遠くへは移動できない事を理解し、同じ動線上でガラス面に沿って約2M移動するのみとする	掲示物が見やすい伝達(啓蒙)効果の向上		
松風園 事務員	娯楽室の有効利用	虚弱になると居室に引きこもる人が多い  娯楽室が一部のみにしか利用されていない	扉が重いので、軽いものにする  段差があるので、手前の部屋を畳から、バリアフリーのフローリングにする テーブルと椅子を置く	足が不自由な方でも出入りしやすくなり、利用する人達が増える 居室に引きこもることが少なくなる		
松風園 栄養士	食堂の雰囲気作り	より気持ちよく、より美味しく食事を召し上がっていただく為	①食事の合図の音楽を季節に合った物にする  ②下膳場所の工夫として残菜バケツをシャワーシンク内に設置・吊戸棚の撤去・カトラリー類を入れるバツの色分け ③椅子の交換(足のゴムキャップが外れ易く床が傷ついている)  ④台布巾を増やしてテーブルを拭きやすくする ⑤現在のラック置場に冷蔵ショーケースを設置する	現在よりもこまめにBGMを変えることで、より季節感、行事を感じられ、食堂に来るのが楽しくなる 下膳場所の工夫により、匂いの軽減や、照明が明るく感じられる様になる  ショーケースに冷菜、デザートを置くことで、より温度管理がしやすく衛生的で美味しいものが提供できる		
松風園 ボイラー技士	浴槽介護リフト	現在の電動リフトは毎年1~2回不具合の為、メーカー修理をしている。購入値段が高	①購入費が安い ②電気を使わない ③壊れにくい ④電動リフト買い替え時の参考に ⑤場所をとらない	電動リフトは、入浴場所が一定の位置だが、横移動ができ、利用者に喜ばれる取扱が簡単		

## 第 2 節 浴 風 園 事 業 報 告

浴風園の事業運営については、平成21年度事業計画で定めた施設運営の基本方針に基づき、利用者が社会人としての主体性をもって健康で楽しく生き甲斐のある生活ができる明るい施設とするよう努めた。

昨年に引き続き、制度改正による介護保険サービス利用に伴う外部ヘルパーによる入浴介助を月平均4名の利用者に対し、延204時間利用する一方、サービスの提供に当たっては利用者の自立支援を常に念頭に置き、ニーズに添った事業を推進した。その結果、所期の事業目標を達成して一定の成果を挙げた。

また、CO2削減化の経営等昨年の事業計画の継続的取り組みを行いつつ、今年度においては衛生管理面における強化対策の一環として、正面玄関への消毒機能付手洗い場設置や食堂手洗い場のジェットエアタオル化改修工事等実施することにより、これまで以上に快適で衛生的な生活環境づくりを行うことが出来た。

### 1 利用者の状況について

定 員	205名	
月 初 平 均 入 所 人 員	205名	
平 均 年 齢	81歳6ヶ月	
最 長 在 籍 年 数	29年10ヶ月	
7 5 歳 以 上	161名	
短 期 入 所 者 数	0名	
退 園 者 数	34名	
費 用 徴 収 金 の 本 人 負 担 の 有 無	無	79名
	有	126名

### 2 施設運営上の重点事項の実施状況について

#### (1) 施設運営について

措置費や補助金等による当園の施設運営費については、適切な会計処理が行われた。平成20年度において東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金の減額は終了したものの、施設経営に当たっては今年度も節約及び合理化を図るなど、サービスの質を落とすことなく効率的経営に努めた。

#### (2) 第三者評価について

1月に福祉サービス第三者評価を「日本生活介護」により受審し、(別表1)のとおりA+(標準項目をクリアしたうえで施設独自の取組みがなされている)が7項目、Aが39項目の良好な結果が得られた。なお改善を要する事項については早急に対応を図っていくこととする。

### (3) 利用者のサービスについて

全ての職員が適正な共通認識を持って適切かつ公平なサービス提供ができるよう、毎日朝と夕刻に利用者の健康状況、生活状況、介助支援内容その他必要事項について引継ぎ検討を行い、自立支援に向けた確に判断が出来るようにした。年度当初には、全利用者の個別支援方針を樹立し、半年後に見直しを行った。

なお、ケース会議を毎週火曜日、木曜日、金曜日に開催し特別養護老人ホーム申請者等の虚弱者及び、入居後3か月を経過した利用者の個別支援計画を作成すると共に、適時的確にそれらの見直しを行い現状に適した支援方針を策定した。

### (4) 介護予防について

朝の「ラジオ体操」、昼の「みんなの体操」に加えて全体利用者会においても「みんなの体操」を実施した。さらに今年度より転倒予防の一環として「転倒予防教室」、機器を導入しての「筋力向上トレーニング」、「認知症予防教室」、「失禁予防教室」を実施した。

### (5) 食事について

利用者の最大の楽しみである食事については、常に利用者の嗜好を献立に反映させるため、食事委員会や嗜好調査等で意見を把握し、複数献立の充実を図った。特に新メニューや郷土料理が好評であるため、今年度においても積極的に取り入れた。

### (6) 選択事業について

娯楽の一環として毎年実施している、利用者が選択して参加できる事業を今年度は下記のとおり実施した。

- |       |           |     |
|-------|-----------|-----|
| ・食事会  | 「聘珍楼」     | 61名 |
| ・一泊旅行 | 今井浜東急リゾート | 30名 |

(上記のうち1つを選択)

(7) 新入居者への対応について

新しく入居した利用者の不安をなくし、1日でも早く当園の生活に慣れていただくよう施設や居室の設備並びに使用方法、特にナースコール・インターホンの取扱い方を丁寧に説明して緊急時等の不安解消に心がけた。また、新利用者への支援サービスには思いやりのある対応を実践するとともに、先住利用者にも協力を促した。

(8) 食中毒及び感染症予防について

園内を常に整理整頓し、手指の洗浄を奨励し、食中毒及び感染症の発生予防に努めた。今年度もペーパータオルを設置し、毎食前利用者及び職員の手指の洗浄を実施した。食事を担当する調理員や直接支援職員であるケアワーカーは、毎月赤痢菌、チフス菌、パラチフス菌、サルモネラ菌、病原性大腸菌、腸炎ビブリオ菌の細菌検査を実施した。また、全居室のゴキブリ点検駆除を実施するとともに、浴槽濾過装置の濾材を適宜交換し、レジオネラ菌繁殖の防止等に努めた。

(9) 施設会計及び預り金について

透明かつ的確な施設運営を行うために社会福祉法人会計基準を遵守し、健全で適正な運営を図ると共に、利用者の預り金等に関しても同様に厳正な管理を図り積極的に情報公開に努めた。

(10) ひきこもり対策について

昨年に引き続き、毎週月曜日に1階ダイルームでミニカラオケ大会を実施したほか、毎週第2木曜日には創作教室にて様々な創作活動を行った。更には、毎日各階ダイルームで午前、午後に給茶支援を行い、午後はミニレク（ぬり絵、折り紙、歌、談話）を実施。また、各階ダイルームでボランティアによるフロアコンサート等を行った。他にも利用者の生活に潤いを持たせるため、ボランティアによるホーム喫茶を毎週土曜日午後に関店した。

(11) 短期入所の受入れについて

一昨年度から実施した在宅において生活することが一時的に困難となった方に対し福祉事務所との協議調整を踏まえ、短期入所（1ヶ月以内）の受入れについて今年度においても視野に入れ取り組みを行った結果、4名述べ60日間の実績であった。

#### (12) CO2 削減化の経営の実践について

昨年に引き続き、地域社会への環境配慮という取り組みの一環として CO2 削減化を図るべくへちま棚の設置を行い、へちま及び瓢箪作成を行った。取り組み 2 年目ということもあり、昨年度よりも良好な出来栄であった。

#### (13) 職員研修及び実習生の受け入れについて

老人福祉施設の職員として必要な専門知識及び支援技術を取得させるため、個別に研修計画を立て、職場内研修や外部の各種研修会に積極的に参加させるよう努めた。さらに、社会福祉士、栄養士等の養成機関からの実習生の研修要請については昨年に引き続き、可能な限り受け入れに努めた。また、近隣中学の体験学習を受け入れた。

### 3 利用者の支援について

明るく心豊かに潤いのある施設を目指して、職員全員が「3つの基本理念」「5つの信条」及び「浴風・七つの誓い」を常に念頭に置き、以下のとおり利用者本位のサービス提供に努めた。

#### (1) 食事について

食事については、給食材料費を 860 円の予算で献立を作成した。なお、利用者の性別・年齢の構成による食事摂取基準量は、熱量 1,493kcal、蛋白質 61.3 g であるが、当園の 1 日平均食事摂取量は熱量 1,492kcal、蛋白質 61.2 g であった。

また、食事時間は朝食 7 時 30 分、昼食 12 時、夕食 18 時から実施すると共に、食事内容の充実と向上を図るため、毎月開催している食事委員会において利用者の要望意見を聞き、また毎食の残菜調査結果や嗜好調査結果などを、献立及び調理に反映させるほか、次のことを行った。

食事内容に変化をつけるため、新メニューや郷土料理、季節の行事の献立などで利用者の食事への興味と充実感を持てるよう努力した。

選択食は前年度同様極力実施回数を増やして充実を図り、喫食率を高めると共に残菜の減少に努めた。

バイキング食は、おでん（7 種類）については一部選択、にぎり寿司は 10 種類の中から自由選択式で実施し、材料に変化をもたせ好評であった。

また、エネルギー、たんぱく質、塩分制限食やアレルギー除去食も実施した。

## (2) 健康管理について

### ① 定期健康診断

入居時健診のほか誕生日とその半年後の月の年2回実施し、誕生日においては週1回浴風会病院の医師により健康状態の把握と必要な医療サービスを受けた。また、毎月血圧測定及び体重測定を実施した。

### ② 健康の維持、増進

利用者が自立した生活を長く送るため、毎日2回ずつラジオ体操とみんなの体操を実施、更に季節により週1回散歩会を構内又は近隣において開催した。

### ③ 感染予防

今年度のインフルエンザ予防接種は、季節型151名、新型108名の方に実施した。また、肺炎球菌予防接種16名であった。

2月23日からノロウイルス感染者が発生したものの、感染症対応マニュアルに基づき対策を講じた結果、罹患者17名という最小限度の範囲に留めることが出来、1ヶ月間で完全終息した。

## (3) 要介護利用者のサービスについて

日常生活動作の低下が著しい利用者のサービスについては、1階と2階の居室で生活できるよう、また、3～6階であってもエレベーターに近い居室を選定する等配慮し、歩行器、ポータブルトイレの使用を勧めるほか夜間も夜勤者がおむつの随時交換、体位変換等のサービスを提供している。

また、次のように入浴介助、洗濯、清掃介助等を行った。

### < 参 考 >

介助項目	平成11年度(定員205名)	平成21年度(定205名)
入浴介助	1回約25人	1回約20人～30人
ヘルパー入浴介助		1回約4人
食事配膳介助	1日約35人	1日約30人～40人
洗濯、清掃介助	1日約60人	1日約30人～40人

排泄や自力歩行が困難な利用者には、機能低下を防ぎ残存能力を活用するよう心がけ、紙パンツ・パットを使用してトイレでの排泄介助を行った。また、やむを得ずおむつを使用する場合にはナースコールによる随時交換を実施した。

高齢化に伴い体力・記憶力が低下し、園での日常生活が著しく困難と認められる利用者に対しては要介護認定の申請を行い、特別養護老人ホームに入所申請するよう勧めてきたが、今年度特養へ入所替えできた者は7名である。

#### (4) 衛生管理について

O-157、ノロウイルスをはじめとする食中毒及び MRSA、疥癬等の感染症発生予防のため、昨年同様、利用者に居室内の清潔と、外出して帰園した際並びに食事前の手洗いを励行した。また、循環型風呂は、殺菌が不十分な場合浴槽内に細菌と共にレジオネラ菌が繁殖するおそれがあるため、週1回の換水と塩素・オゾン等による濾過殺菌を適正に実施した。

また、食堂を含め園内においては、10月～3月まで感染予防強化月間として、廊下、手すり、共用部、食堂など毎日消毒を行った。更に、月に一度は居室内冷蔵庫等の点検を行うと共に、利用者の居室のゴキブリ駆除を実施した。

なお、直接支援職員には毎月細菌検査を実施すると共に、調理を担当する職員には、調理室に入る時は必ず手指の消毒を行いマスクを着用する他、常に調理室の整理整頓、まな板、包丁、調理器具等の消毒を励行した。

併せて喫煙対策の一環として、園内喫茶コーナー喫煙所にビニールカーテン及び換気扇を設置し煙の食堂への流出を食い止める策を講じるとともに、中庭の一角に整地を施し法人内環境とのバランスにおいて景観を損ねず、喫煙を楽しんで頂くべく外部喫煙所を設置した。利用者の喫煙者並びに近隣の方々にも広くご利用いただき好評である。

#### (5) 事業等について

平成21年度の日課及びクラブ活動、主要事業等の実施状況は次のとおりである。

- |           |   |
|-----------|---|
| ① 入浴      | 毎日 16時30分～20時30分<br>(介助入浴 13時30分～15時 随時対応可) |
| ② 誕生会     | 毎月 第2金曜日                                    |
| ③ 法要日     | 毎週 水曜日                                      |
| ④ 全体利用者会  | 毎月 第2火曜日 (利用者全員)                            |
| ⑤ 階別利用者会  | 毎月 第3火曜日                                    |
| ⑥ クラブ活動状況 |   |

クラブ室、お茶室、陶芸室、大ホール、小ホール等を利用してクラブ活動を行い、その活動状況は下記のとおりである。

詩吟	11回	ゲートボール	43回
歌おう会	44回	器楽	23回
カラオケ	19回	水墨画	11回
茶道	10回	気孔	17回
陶芸	44回	絵手紙	10回
俳句	11回	短歌	10回
みんなの広場	14回	書道	22回
		創作教室	17回

自主カラオケ会 48回等も実施した。

⑦ ビデオ会

会議室に設置した大スクリーンを利用して、ビデオ会を月1回開催し、往年の時代劇の数々や「おくりびと」等を鑑賞した。

⑧ 買物デー

歩行に自信がなく、園外のスーパー等に行くことが困難な利用者については、週1回散歩会に合わせて車椅子等を利用し買物に出かけた。

⑨ 創作教室

ひな祭り、端午の節句にはひな人形や兜作りを行ったほか、タオルでねずみやドレス型手拭等を作成、貼り絵で花火や桜の壁画作りを各1回ずつ計5回行った。毎回10数名の利用者にボランティアとして参加いただき、その方々に20名～30名集まる他の利用者の方々の講師をつとめて頂き好評であった。

⑩ 主要事業

主要事業の実施状況は（別表2）のとおりである。

(6) 日用品及び衣料品等支給について

日用品及び衣料品等を次のように支給した。

- |             |             |
|-------------|-------------|
| ① トイレットペーパー | 毎月男性2個、女性4個 |
| ② 化粧石鹸      | 4か月に1個      |
| ③ 洗濯用洗剤     | 4か月分として1箱   |

- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| ④ フロアモップ替紙   | 1年分として2袋（湿30枚、乾40枚） |
| ⑤ その他の日用品購入費 | 毎月3,000円            |
| ⑥ 衣料品等       | 6月と11月に各15,750円     |

なお、⑥については、業者による展示会方式と利用者に現金を交付し自主的にどこの店でも購入できる方式のどちらかを利用者が選択する方法で実施した。6月は105名の利用者が展示会方式、100名が自由購入し、11月は103名が展示会方式、100名が自由購入した。

#### (7) 個別支援について

利用者のサービスについては毎日朝と夕刻にミーティングを実施し、職員すべてが共通認識をもって適正なサービスが行えるように努めた。

また、個別支援方針の樹立のためサービス支援会議を開催し、誕生月に利用者と個別に面談しケアプランへの希望要望等を聞き取り、支援の充実を図った。

#### (8) 利用者の預り金について

利用者の金品については、利用者自ら管理することを原則としているが、自ら管理することが困難な利用者35名及び、定額預金証書等を貸し金庫に預けている利用者15名については、利用者の預り金に関する「浴風園預り金規程」に基づき、入出金は職員2名が立会う等、管理に当たっては万全を期した。

### 4 敬老の日及び家族会について

平成21年9月21日に敬老の日の式典を行い、卒寿を迎えた9名、喜寿7名、米寿5名の利用者に理事長の祝詞とともに園長よりお祝金を贈呈し長寿を祝った。

また、当日第23回家族会を開催し、園の事業経営について説明すると共に家族に対して、できるだけ利用者の面会に来園するよう要請した。当日は計40名の方々が出席され、家族会終了後は利用者との会食、浴風園行事ビデオ鑑賞、家族と共に7階浴室での入浴、喫茶コーナーでのコーヒー、汁粉のサービス等々思い思いに利用者と同楽した。

### 5 ボランティア、招待、参加の受託状況について

各種団体等からのボランティア、講演会等の招待、参加を次のとおり受けた。

#### (1) ボランティア公演

- |   |                   |                     |
|---|-------------------|---------------------|
| ① | 平成 21 年 4 月 12 日  | マジックと音楽コンサート        |
| ② | 平成 21 年 4 月 19 日  | 井の頭管弦楽団コンサート        |
| ③ | 平成 21 年 5 月 19 日  | 日本フィル弦楽四重奏団コンサート    |
| ④ | 平成 21 年 5 月 21 日  | 叙情歌コンサート            |
| ⑤ | 平成 21 年 8 月 10 日  | 大野和士ふれあいコンサート       |
| ⑥ | 平成 21 年 8 月 19 日  | 美咲会歌謡コンサート          |
| ⑦ | 平成 21 年 8 月 26 日  | 高井戸東小学校合唱慰問         |
| ⑧ | 平成 21 年 10 月 7 日  | 大村みのりコンサート          |
| ⑨ | 平成 21 年 10 月 20 日 | プリマヴェーラコンサート        |
| ⑩ | 平成 21 年 11 月 15 日 | 井草混声合唱団公開コンサート      |
| ⑪ | 平成 21 年 11 月 23 日 | 風邪の園虹色コンサート         |
| ⑫ | 平成 21 年 12 月 6 日  | 歌とピアノの音泉コンサート       |
| ⑬ | 平成 21 年 12 月 12 日 | 富士見ヶ丘キリスト教会讃美歌慰問    |
| ⑭ | 平成 21 年 12 月 13 日 | 井の頭管弦楽団コンサート        |
| ⑮ | 平成 21 年 12 月 16 日 | 天沼教会讃美歌慰問           |
| ⑯ | 平成 21 年 12 月 21 日 | 叙情歌クリスマスコンサート       |
| ⑰ | 平成 21 年 12 月 23 日 | TG グリー合唱団クリスマスコンサート |
| ⑱ | 平成 22 年 3 月 7 日   | 美咲会歌謡コンサート          |

## (2) 継続的ボランティア

- |   |           |            |      |
|---|-----------|------------|------|
| ① | 清掃（ガラス拭き） | 卯の花グループ    | 4 名  |
| ② | 理容・美容     | 桜グループ      | 10 名 |
| ③ | 賛美歌       | 富士見ヶ丘、天沼教会 | 30 名 |
| ④ | 喫茶コーナー    | レインボーグループ  | 23 名 |
| ⑤ | 交流会       | 高井戸東小 4 年生 | 52 名 |
| ⑥ | 歌謡コンサート   | 美咲会        | 25 名 |
| ⑦ | 交流会       | 恵泉女学園      | 60 名 |

## 6 地域との交流について

4 月の高井戸区民祭りには個人、クラブ含め、利用者の作品展示を行った。文化祭（平成 21 年 3 月 2 日）では、利用者の作品展示会に地域の人やボランティア

アの方を招待し交流した。クラブ発表会については、ノロウイルスの影響により、次年度4月に延期実施行うこととなった。なお、クラブ講師懇談会を開催し、講師の意見や要望等を伺った。

園の日頃の生活、事業状況に対して理解と協力を得るために、「浴風園だより」を発行し、利用者や家族、ボランティア講師、関係機関に配布した。

ホール等の施設設備を昨年に引き続き地域の合唱グループや楽団等各種団体に開放した。

## 7 防災対策について

### (1) 防災訓練について

毎月防災訓練を実施し、避難誘導、消火通報訓練等利用者の安全確保に備えた。特に防災機器の取扱い、防災設備作動時の操作説明等を職員に徹底させた。

10月9日には、東海沖地震を想定した法人総合防災訓練に参加した。なお、3月には普通救命講習会に職員1名が参加した。

### (2) 消火設備等の点検について

平成21年8月に消防用設備等の点検を専門業者により実施した。また、防災規程による自主点検と毎月の防災訓練を行った。

### (3) 非常食等の確保について

現在備蓄している非常食は、飲料水（ペットボトル1.5ℓ入400本）、他に米300kg、梅干20kg、梅粥200人分、アルファ米800人分、パン200人分、缶詰（鰯味付、牛肉大和煮、昆布豆、さけ水煮缶）等を確保し、災害等緊急時に3日間程度は対応できるようにして、目安となる献立表を作成した。

### (4) 夜間災害時の避難を考慮し、利用者の居室に設置している壁掛式非常用懐中電灯の電池を点検し、夜間避難に備えている。また、自家発電装置はディーゼル運転で、重油の補給なしで停電時、非常灯、エレベーター1基、水道は5時間作動可能となっている。火災時でも1時間程度非常灯が点灯するようになっている。

## 8 入居希望者の待機状況について

平成21年度の各福祉事務所からの入居依頼者数は、男性32名、女性34名であっ

た。入居希望者の待機者総数は、男性 107 名、女性 90 名の計 197 名である。

## 9 リサイクル活動の参加について

資源ゴミである古紙（古新聞、ダンボール等）、空き缶、空きびん等の分別回収については、回収を行っている杉並区に積極的に協力した。

## 10 実習、研修生の受け入れについて

社会福祉関係校より要望のあった学生の実習、研修を（別表 3）のとおり受け入れた。なお、実習に先だってオリエンテーションを行った。

また、阿佐ヶ谷中学校、宮前中学校からの体験実習生が施設訪問した。

## 11 職員研修について

職員の資質向上と専門知識、技術の習得を図るため、東社協や全社協等主催の各種研修会、講習会、研究会に延 45 名を（別表 4 - 1・4 - 2）のとおり参加させた。

また、例年通り「事業案内」を作成し全員に配付して、職員の共通認識、業務のマニュアル化を図った。

## 12 諸会議の開催状況について

職員会議	49回	全体利用者会	12回
業務運営会議	12回	階別利用者会	12回
直接支援職員会議	12回	食事委員会	12回
業務、サービス会議	毎日	クラブ講師懇談会	1回

上記の他に浴風会各施設の代表職員で構成された、給与検討委員会、子育て支援検討委員会、緊急時生活用水・電源等対策委員会、法人事務システム化委員会、病院・施設連絡会議、広報委員会、防災会議等が行われた。

(別表2)

## 平成21年度浴風園主要事業実施状況

月	日	事業等	月	日	事業等	月	日	事業等
4	1	花見会	8	4	食事委員会	12	1	食事委員会
	7	食事委員会		5	納涼祭		2	餅つき会
	8	花まつり		11	全体利用者会		8	全体利用者会
	10	誕生会		14	誕生会		11	誕生会
	14	全体利用者会		18	階別利用者会		15	階別利用者会
	21	階別利用者会					16	年忘れ会
5	4,5	菖蒲湯	9	1	食事委員会	1	1	新年祝膳
	8	誕生会		8	全体利用者会		1	初詣
	12	食事委員会		11	誕生会		5	食事委員会
	13	新茶の会		15	階別利用者会		8	誕生会
	19	全体利用者会		21	敬老会・家族会		12	全体利用者会
	26	階別利用者会		29	秋季彼岸法要		15	法人創立記念日
6	2	食事委員会	10	6	食事委員会	2	2	食事委員会
	9	全体利用者会		9	誕生会		3	節分会
	12	誕生会		13	全体利用者会		9	全体利用者会
	16	階別利用者会		20	階別利用者会		12	誕生会
	17	衣料展示会					16	階別利用者会
	24	一泊旅行						
	25	一泊旅行 * 食事会6月、 7月で実施						
7	7	食事委員会	11	10	食事委員会	3	2	食事委員会
	7	七夕祭り		10	全体利用者会		2	文化祭・作品展示会
	10	誕生会		13	誕生会		~3	・発表会
	13	迎え火		17	階別利用者会		9	全体利用者会
	14	全体利用者会		18	衣料展示会		12	誕生会
	16	送り火					16	階別利用者会
	21	階別利用者会					26	春季彼岸法要
24	盂蘭盆会法要							

(別表3)

実習生受入れ記録 平成21年度浴風園

	期 間	期 間	人数	期 間
1	5/7～6/8	東京福祉専門学校	2名	23日
2	8/3～8/18	田園調布学園大学	1名	12日
3	8/24～9/8	日本社会事業大学実習教育センター	1名	12日
4	9/28～10/9	東京福祉専門学校	1名	10日
5	10/1～11/5	日本福祉大学	1名	24日
6	11/16～12/8	臨床福祉専門学校	1名	16日
7	1/12～1/27	日本社会事業大学通信教育課	1名	12日
8	2/1～2/19	日本福祉教育専門学校	2名	28日
9	3/1～3/16	日本社会事業大学通信教育課	1名	12日
	合 計		11名	149名

(別表 4 - 1)

外部研修実施記録(平成 2 1 年度)

期 間	日数	研 修 名	開 催 場 所	参 加 者
5 月 22 日	1 日	防災管理者講習	東京消防庁神田講習所	管理部長 1 名
5 月 24 日	1 日	運動器機能の向上指導員研修	ルースト八王子	養護相談員 1 名
5 月 28 日	1 日	高齢者施設給食衛生講習	高井戸保健センター	栄養士 1 名
6 月 25 日	1 日	集団給食講習会	杉並保健所	栄養士 1 名
6 月 26 日	1 日	栄養技術講習会	東京自治会館	栄養士 1 名
6 月 30 日 7 月 1 日	2 日	関東ブロック研究大会	パシフィコ横浜会議センター	ケアワーカー 2 名
7 月 15 日	1 日	栄養技術講習会	東京自治会館	栄養士 1 名
8 月 28 日	2 日	集団給食講習会	杉並保健所	調理員 1 名
9 月 30 日	1 日	高齢者福祉研究大会	京王プラザホテル	ケアワーカー 1 名
10 月 22 日	1 日	集団給食見学・試食会	ホテルニューオオタニ	調理員 1 名
10 月 31 日	1 日	新型インフルエンザ講習会	神田ハーモニーホール	養護相談員 1 名
11 月 19 日・20 日	2 日	防火・防災管理者講習	東京消防庁神田講習所	ケアワーカー 2 名
1 月 21 日	1 日	栄養技術講習会	杉並保健所	調理員 1 名
1 月 22 日	1 日	特定給食施設事例報告会	東京都議会議事堂	栄養士 1 名
1 月 26 日、 27 日	2 日	全国老人福祉施設大会	千葉市幕張メッセ	管理部長 1 名
2 月 9 日、 24 日	2 日	特定給食施設事例報告会	東京都議会議事堂	栄養士 1 名
3 月 9 日	1 日	特定給食施設事例報告会	東京都議会議事堂	栄養士 1 名
合 計	22 日			延 26 名

(別表 4 - 2)

平成 2 1 年度浴風園個別研修計画  
(白抜きは内部一般研修)

	役職・職種	研修名	予定	実績
	管理部長	防災管理者講習	5月	5. 22
		幹部職員の役割と危機管理	1月	1. 25
		いじめ・パワハラメントの処方箋	11月	11. 17
		全国老人福祉施設大会	1月	1. 26,27
	サービス課長	いじめ・パワハラメントの処方箋	11月	11. 17
		幹部職員の役割と危機管理	1月	1. 25
	主幹看護師	いじめ・パワハラメントの処方箋	11月	11. 17
		新型インフルエンザ対処法	11月	11, 16
		幹部職員の役割と危機管理	1月	1. 25
	保健衛生調整室長	新型インフルエンザ講習会	10月	10, 31
		新型インフルエンザ対処法	11月	11. 16
	ケアリーダー	リーダー研修	6月	6・8. 9
	事務員	個人情報保護法	8月	8. 27
	施設管理主事	法令遵守	6月	6. 24
	養護相談員	運動器機能の向上指導員研修	5月	5. 22
	養護相談員	個人情報保護法	8月	8. 27
		防火・防災管理者講習	11月	11・19,20
	養護相談員	関東ブロック研究大会	6月	6,30・7,1
		大逆転の認知症ケア	3月	3. 23
	栄養士	高齢者施設給食衛生講習	5月	5. 28
		集団給食講習会	6月	6. 25
		栄養技術講習会	6月	6. 26
		栄養技術講習会	7月	7. 15
		特定給食施設事例報告会	1月	1. 22
		特定給食施設事例報告会	2月	2・9,24
		特定給食施設事例報告会	3月	3. 9
	ケアワーカー	関東ブロック研究大会	6月	6,30・7,1
	ケアワーカー	階層別研修	8月	8. 6
	ケアワーカー	高齢者福祉研究大会	9月	9、30
	ケアワーカー	階層別研修	10月	10, 26
	ケアワーカー	介護職に必要な医学の基礎知識	1月	1, 27
	ケアワーカー	介護職に必要な医学の基礎知識	1月	1, 27
	ケアワーカー	介護職に必要な医学の基礎知識	1月	1, 27
	ケアワーカー	介護職に必要な医学の基礎知識	1月	1, 27
	ケアワーカー	大逆転の認知症ケア	3月	3, 23
	調理員	集団給食講習会	8月	8, 28
	調理員	集団給食見学・試食会	10月	10, 22
	調理員	栄養技術講習会	1月	1, 21
	調理員	介護職に必要な医学の基礎知識	1月	1, 27

(別表1)

福祉サービス第三者評価結果

(1) 概況

評価時期	平成21年10月22日～平成22年3月1日
フィードバック	平成22年3月1日
評価機関	株式会社 日本生活介護

(2) 評価講評

特に良い と思う点	<p>高齢職員の退職などにより、スタッフの3分の1が入れ替わり、若手職員中心の体制となった結果、積極的に課題を発見して改善に取り組んでいく雰囲気が出てきている。4月からは相談員の業務の見直しを通じて、多くの職員を現場に配置できるようになり、また、階担当制の導入や「個別支援サービス計画」「月間予定表」(支援予定表)を連動させる仕組みの導入など、日常生活動作能力の低下した利用者に対しての支援への工夫と努力が行われている。今後とも若手職員の意欲を積極的に取り入れ、新しい試みにアプローチしていくことに期待している。</p>
	<p>日常生活動作が低下しないように、自立した生活が長く続けられるように健康管理や健康増進、維持のために新たな取り組みを始めた。日常生活の中で無理なく取り入れることが出来るように毎日朝と昼前に軽体操を行い日課として溶け込んでいる。運動機器を購入して筋力向上トレーニングも始めており、転倒予防教室、認知症予防教室、失禁予防教室を定期的に開催して利用者の意識向上に努め、利用者の心身状態の維持を目指す取り組みと期待できる。</p>
	<p>利用者が園に早く慣れ、新しい生活環境で不安を抱かないように、先ず食堂で利用者全員に新入居者として紹介し、園だよりも掲載して、周りの利用者に早く知って貰うように情報を提供している。また、職員間でも情報を共有し、毎日の生活ぶりをフォローしている。本年度から職員の配置を手直しして、従来は200名を越える利用者全員を全職員でカバーしていたが、各階ごとに正副2名の担当職員を決め、主として担当階を中心に利用者の介助をすることに努めた。この担当制が新入居者にとって、職員が身近な存在、相談相手となっているものと思われる。</p>
さらなる 改善が望 まれる点	<p>マニュアル類が、職員個々の身について、即活用できるかを随時確認することも大切と思われる。酸素濃縮器の取扱い、誤薬や転倒時の対応など実際に職員がシナリオを作って、ロールプレイを行い、緊急時に備え、円滑に対応できるようにしたり、紙おむつの装着などメーカーのスタッフを招いて実技公衆を行うことも一つの訓練方法である。更に、研修は実践的なものも多く、一方、新人職員も増加しているので、研修効果を職員間で共有し、持続させるためには、随時、理解度の振り返りセルフチェックを行うことも大切と思われる。</p>

	<p>何らかの身体的・精神的な支援を必要とする利用者が増加している。園では新たに階担当制の採用や日中支援の体制の強化などの対応を行っているが、今後もこうした傾向が進展していくと予想されることから、利用者の ADL 変化に適応した設備の改修や、あるいは更なる人材の確保・育成が求められる。また、法人としても病院の機能の強化などの検討が行われている。現在、利用者の重度化に伴う体制整備並びにサービス内容の在り方についての中長期事業計画が進められているが、今後、高齢者総合施設の機能と特徴を發揮するような取り組みに期待したい。</p>
	<p>園では、カラオケや歌おう会、水墨画、書道など多くの活動があり、また、ビデオ鑑賞や創作教室、花見会や一泊旅行、納涼祭、餅つき大会など季節ごとの行事も豊富に行われている。しかし、利用者調査によれば、「楽しみにしている活動の有無」でははいと答えた人が 44% と半数を割っており、この傾向は続いている。こうした活動への参加率の減少は、利用者の ADL 低下も関連があると思われることから、今後、食堂での食事の時間を活用するなど、利用者の心身の状況に見合った活動メニューによって参加を促していくような取り組みが望まれる。</p>

### (3) 事業評価

事業評価項目	評価結果
<b>I 組織マネジメント項目</b>	
カテゴリー 1 リーダーシップと意思決定 サブカテゴリー 1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	A
1 事業所が目指していること（理念・基本方針）を明示している	A
2 経営層は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	A
3 重要な案件について、経営層は実情をふまえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	A
カテゴリー 2 経営における社会的責任 サブカテゴリー 1 社会人・福祉サービス事業者として守るべき明確にし、その達成に取り組んでいる	A
1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している	A
2 第三者評価の導入・外部監査、情報開示などのより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている	A
3 将来を担う人材育成として、実習生を受入れている	A
サブカテゴリー 2 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	
1 事業所の機能や福祉の専門性を活かした取り組みがある	A
2 ボランティア受入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している	A
3 地域の関係機関と連携を図っている	A+
カテゴリー 3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用 サブカテゴリー 1 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している	A+
1 利用者一人ひとりの意向を多様な方法で把握し、迅速に対応している	A+

2	利用者意向の集約・分析とサービス向上への勝代に取り組んでいる	A
3	地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を分析している	A
カテゴリー4 計画の策定と確実な実行		
サブカテゴリー1 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
1	取組み期間に応じた課題・計画を策定している	A
2	多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している	A
3	着実な計画の実行に取り組んでいる	A
サブカテゴリー2 利用者の安全確保・向上に計画的に取り組んでいる		A
1	利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	A

カテゴリー5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリー1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		
1	事業所にとって必要な人材の確保・育成に取り組んでいる	A
2	職員の質の向上に取り組んでいる	A
サブカテゴリー2 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		
1	職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	A
2	職員のやる気向上に取り組んでいる	A
カテゴリー7 情報の保護・共有		
サブカテゴリー1 情報の保護・共有に取り組んでいる		
1	事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	A
2	個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨をふまえて保護・共有している	A
カテゴリー8 カテゴリー1～7に関する活動成果		
サブカテゴリー1 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している		
1	前年度と比べて以下のカテゴリーで評価される部分について改善を行い成果があがっている ・ カテゴリー1：「リーダーシップと意思決定」 ・ カテゴリー2：「経営における社会的責任」 ・ カテゴリー4：「計画の策定と着実な実行」	A+
サブカテゴリー2 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している		
1	前年度と比べて以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・ カテゴリー5：「職員と組織の能力向上」	A+
サブカテゴリー3 昨年度と比べ、福祉サービス提供のプロセスや情報保護・共有の面において向上している		
1	前年度と比べて以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・ カテゴリー6：「サービス提供のプロセス」 ・ カテゴリー7：「情報の保護共有」	A+
サブカテゴリー4 昨年度と比べ、事業所の財政面において向上している		
1	前年度と比べて、財務諸表など財務に関する指標において改善傾向を示している	A+

サブカテゴリー5 前年度と比べ、利用者の意向や苦情対応の面で向上している 1 前年度と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分や利用者満足度調査などにおいて改善傾向を示している ・カテゴリー3：「利用者意向や地域・事業環境などの把握」	A
<b>II サービス提供のプロセス項目</b>	
サブカテゴリー1 サービスの情報の提供 1 利用者等に対してサービスの情報を提供している	A
サブカテゴリー2 サービス開始・終了時の対応 1 サービスの開始にあたり利用者等に説明し、理解を得ている	A
2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	A
サブカテゴリー3 個別状況に応じた計画策定・記録 1 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している	A
2 利用者の希望と関係者の意見を取り入れた個別支援計画を作成している	A
3 利用者に関する記録が行われ、管理体制が確立している	A
4 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している	A
サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳 1 利用者のプライバシー保護を徹底している	A
2 サービスの実施に当たり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している	A
サブカテゴリー6 事業所業務の標準化 1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取組みをしている	A
2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取組みをしている	A
3 さまざまな取組みにより、業務の一定水準を確保している	A
<b>III サービスの実施項目</b>	
1 個別支援計画に基づいて自立生活が営めるよう支援している	A
2 食事は、利用者の状況や要望を反映したサービスを行っている	A
3 入浴支援は、利用者の状況や意思を反映して行っている	A
4 利用者が主体的に健康管理や介護予防に取り組むための支援体制を整えている	A+
5 日常生活では、利用者の状態や意思を反映した支援を行っている	A
6 利用者の生活が健康で明るくなるよう、施設の生活に工夫している	A
7 施設と家族との交流・連携を図っている	A
8 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取組みを行っている	A

\* A+：標準項目を全て満たした上で施設独自の取組みを行っている。

A：標準項目を全て満たしている。

B：標準項目を1項目でも満たしていない。

C：標準項目を全て満たしていない。

## 第 3 節 松 風 園 事 業 報 告

松風園の事業運営については、利用者の安心と自立を支える生活支援施設として、サービスの充実と、健康で明るい施設運営を目指して、明るく楽しい生活の場作りに励むとともに、利用者の病弱化と虚弱化傾向の増加に対応する自立支援の実践に誠心誠意取り組み、所期の事業目的の達成を図った。

### 1 利用者の状況について

定 員		200名
月平均利用実人員		196.8名
平 均 年 齢		82歳4ヶ月
最 長 在 籍 年 数		31年9ヶ月
75歳以上		171名
退 居 者 数		22名
費用負担金の 本人負担有無	無	0名
	有	200名

新規利用者は23名、平均年齢は75歳7ヶ月であった。退居者は22名で内訳は死亡者6名、特別養護老人ホームへの退居者が14名、長期入院見込み2名であった。

利用者のうち、75歳以上の後期高齢者は171名で、在籍者の85.5%に達している。なお、利用者の最高齢者は101歳であった。

### 2 施設経営上の重点事項の実施状況について

#### (1) 介護予防対策

外部より専門インストラクターを招き行う「予防リハビリ」、職員が講習を受講したのち指導する「舞リハビリ」、職員がサポートしておやつ作りや作品作りを行う「介護リハビリ」を行った。なお、利用者がいずれかに興味が沸くようにそれぞれの内容に工夫をした。また、クラブ活動、園企画旅行、行事等への

参加を奨励し、心身の機能維持が図れるよう努めた。なお、昨年好評であった抹茶の会も引きこもりがちな利用者には、予防対策となった。

## (2) 介護（支援）者への対応

自立した生活への援助の一環として、虚弱化傾向が見られる利用者には、介護保険の給付申請を促し、介護度に応じてギャッチベッド等福祉用具の貸与制度の活用を、また、通所介護施設の利用、訪問介護の利用を図った。

また、食堂介助席に天板調整テーブルを二台購入した。

なお、平成 22 年 3 月末の状況は、要支援 1 が 7 名、要支援 2 が 10 名、要介護 1 が 8 名、要介護 2 が 6 名、要介護 3 が 3 名、要介護 4 が 3 名、要介護 5 が 1 名、計 38 名であった。

## (3) 地域社会との交流

納涼祭、餅つき大会の際には、地元の原郷土会の協力を頂き交流会を図った。

また、今年度は、新型インフルエンザ等の影響により、近隣保育園との交流活動は自粛した。

## (4) 健康管理

健康管理は、年 1 回誕生月の杉並区民健康診断、その半年後の簡易診断を浴風会病院に委託実施した。1 1 月にはインフルエンザの予防接種、1 2 月には新型インフルエンザの予防接種、1 月には希望者に限り肺炎予防球菌の予防接種をそれぞれ実施した結果、施設内での流行は見られなかった。

なお、ノロウィルスの感染に関して発症者数は 5 名であり、居室対応に努めた結果、流行には至らなかった。

3 月には名誉病院長の 大友 医師による「認知症の予防」と題して、医療講話を実施した。

また毎朝 8 時 5 0 分に、「みんなの体操」を行った。

## (5) 衛生管理

食中毒の発生予防に関し、冷蔵庫の点検、ゴキブリ駆除、職員の検便、厨房の清掃等必要な措置を行った。

貯湯槽、貯水槽の定期清掃、浴槽循環装置の定期細菌検査を実施した。また、レジオネラ菌対策として、毎週 1 回の浴槽換水を前年同様実施した。なお、循環装置のろ材の交換も行った。

感染症対策として、正面玄関に洗面台を新設し、手指洗浄用小型電解水生成装置を新たに設置した。

(6) 第三者評価について

平成 15 年度より毎年受審し、本年度も引き続き受審した（別表 1）。評価結果を真摯に受け止め、改善すべきところは次年度の事業計画に盛り込んだ。

(7) 施設経営について

年度途中で、社会福祉施設に係る水道料金の「共同住宅扱い適用」の申請を行い、水道料金の削減に努めた。

### 3 利用者サービスについて

(1) 食事について

食材料費は 1 日 810 円とし、1 日平均 1,500 キロカロリー、蛋白質 60g を基準に実施した。

献立表には、食事と健康及び食中毒の予防等の一口メモを掲載した。また、彩食だよりの作成や掲示、脂質代謝異常症や骨粗しょう症予防などのポスターを作成し、情報提供を行った。さらに、希望者には糖尿病の食事療法や抗がん剤による食欲低下対策、減量等について栄養相談を行った。

嗜好調査を 2 月に 1 回実施した。アンケートの回収率は 87%であった。また残菜調査は、平成 22 年 2 月 22 日から 25 日の夕食について実施した。残菜調査期間中の平均喫食率は 89%であった。結果については内容を吟味し可能な限り改善し、今後の献立に反映させていく。

体調不良や歯科治療等のため提供した介護食は、粥食、魚骨抜き、刻み食、ミキサー食、おにぎり等である。アレルギー等による代替食は、21 種類提供した。

また、アンケート方式の選択食は毎月 8~10 回実施した。5 月の開園記念日には、世界各国の 26 種類の料理と 6 種類の飲み物をバイキング形式で提供した。

ご飯の小盛り希望者が増えたことに伴い、ご飯茶碗の小盛り用を新規購入した他、経年劣化した食器を 2 種類更新した。

(2) 健康管理について

定期健康診断のほか、看護師による血圧・体重測定を毎月実施、健康相談は随時行った。

新規利用者には、入園時検診を行った。また、入院者は延 57 名であった。

介護状況は次表のとおりであった。

介護内容	対象人数	介護内容	対象人数	介護内容	対象人数
入浴一部介助	15	尿・便失禁介助	9	認知症ケア	32
入浴全面介助	3	便器介助	6	洗濯介助	18
リフト浴介助	2	オムツ交換	7	布団干し	7
見守入浴	11	病院受診送迎	90	ゴミ捨て	23
居室配膳	26	緊急入院介助	30	居室清掃介助	6
食堂上下膳介助	48	投薬介助	26	給茶	18

### (3) 日用品の支給

日用品の支給は、今年度も構内売店で使用可能なプリペイドカードを毎月交付し、利用者に必要な物品を購入してもらった。その他、トイレトペーパーを毎月男性 2 個、女性 3 個現物で支給した。

### (4) 年間行事及びクラブ活動

年間行事は（別表 2）のとおり実施し、クラブ活動は（別表 3）のとおりである。

なお、今年度は麻雀クラブが同好会から昇格した。

主要行事は、

園企画一泊旅行	行き先 福島県方面	43名
園企画お食事会	デリバリー 寿司	78名
	デリバリー フレンチ	42名
(上記 2 種より 1 種選択)	計	163名
園企画日帰りバス旅行	行き先 富士サファリパーク	59名
敬老の日祝典		180名
家族・保証人懇談会		64名

### (5) 苦情解決について

本年度は、苦情の申立はなかった。なお園内設置の「ご意見箱」に頂いた投書は苦情 7 件、要望 21 件、お礼 5 件の合計 33 件の意見が寄せられた。

苦情の内容としては、施設や職員に対するものが2件、利用者に関するものが5件となっていた。また、要望の内容としては施設や職員に対するものが16件と最も多いのですが、その中には提案が7件、質問が3件、感想が2件含まれております。それ以外の要望には食事に関するものが4件となっております。お礼の内容については、施設や職員に関するものが4件、食事に関するものが1件となっていた。

#### (6) 生活支援について

生活支援サービスとしての各種相談、情報提供、緊急時の対応等に努めた。また、日常生活動作が著しく低下した利用者については、1階の居室で生活できるよう居室変更を行い、また、歩行器、ポータブルトイレ等の使用も勧めた。

今年度介護保険のサービスを受けている利用者は22名で、その内訳は訪問介護利用者14名、デイサービス利用者5名であった。

### 4 家族との交流について

- (1) 今年度は、9月20日に家族・保証人会を開催し、施設事業の説明、意見・情報交換を行い理解と協力を求めた。
- (2) 広報紙「松風園だより」を年4回発行、行事、生活状況を案内した。また年1回発行している「松風園ご案内」も発送した。

### 5 地域交流・ボランティアについて

- (1) 納涼大会・餅つき会に、地元郷土会の協力を仰いだり招待したりと、利用者とともに楽しみ交流を図った。
- (2) クラブ講師との懇談会を開催、クラブ運営等について意見交換、要望、現状の理解をお互いに深め、今後の更なる協力を要請した。
- (3) 公演等の招待・来訪者は（別表4）のとおりであるが、招待については東京善意銀行を通してのものである。なお、年度後半においては、新型インフルエンザ等の流行を考慮して自粛した。

### 6 諸会議の開催状況について

- (1) 利用者関係会議

① 利用者懇談会

毎月1回開催、園の事業計画、収入申告、設備機器の改修状況等説明、利用者からの質疑、意見を聞き懇談した。

② 利用者食事懇談会

各棟別に年4回、計12回開催、食事に関するサービス全般について意見、要望を聴取、松風園栄養士及び委託業者から栄養士、調理現場チーフ、調理師と営業又は、スーパーバイザーのどちらかが参加し質疑応答にあたった。

(2) 職員関係会議

① 業務運営会議

毎月1回定例会を開催、業務運営等について協議検討を行った。

② 職員全体会議

毎月1回開催、園業務の必要事項の周知と協議を行った。

③ サービス会議

毎月1回開催、個別処遇計画の協議、サービス向上・充実に図った。

④ ミーティング

毎朝朝礼後開催、夜勤者の報告・引継ぎ、当日業務の確認等を行った。

⑤ 業務ミーティング

毎日午後4時から開催、各職域からの報告、引継ぎ、サービス方針の確認等を行った。

⑥ 食事ミーティング

毎朝開催、前日の反省、当日の献立、調理の確認、衛生管理の点検確認等を行った。

⑦ ワーカーミーティング

毎月1回以上開催、業務の連絡調整、利用者サービスについての研究・研修を行った。

⑧ 老人福祉事業連絡会

浴風園、ケアハウス及び松風園の老人福祉三施設で集まり共通する問題点等について協議した。

## 7 防災について

非常時における利用者の生命の安全確保のため、(別表5)のとおり防災訓練を実施した。

また、今年度も緊急時に居室にストレッチャーが入ることが出来るか、実際にストレッチャーを持って利用者の居室の訪問調査を実施した。

## 8 職員研修について

職員の資質の向上を図るため、毎月施設内研修を行ったほか、本部主催の職員研修会に参加、また東京都社会福祉協議会、全国社会福祉協議会等が主催する各種研修会に、34名46日参加させた(別表6)。

## 9 建物・設備の修繕等について

建物・設備については経年劣化が見られ、安全の確保のため、また利用者サービスの一環として改修を必要とするものについて行った。

今年度施工した大きな工事等としては、1階共用トイレ(男女共)の改修、玄関周り窓ガラスの遮熱フィルム取り付け、感染症対策として玄関に洗面台の設置、医務室脇の静養室設置工事、夏季の廊下換気対策として各棟の2階3階の非常口扉の改修、共用娯楽室の内装工事、相談室の改修等であった。

また、テレビの地上波デジタル化対策として、総務省にアナログテレビ使用継続利用者の、簡易チューナーの取り付け工事を49名分申請・工事を実施した。

## 10 入所希望者待機状況

居住地	平成21年度末		前年度末		増減	
	単身	夫婦	単身	夫婦	単身	夫婦
杉並区	79	22	68	38	+11	-16
他区	102	18	88	14	+14	+4
計	181	40	156	52	+25	-12

(別表1)

福祉サービス第三者評価結果

(1) 概況

事業評価実施期間	平成21年11月24日～平成22年3月12日
フィードバック	平成22年3月31日
評価機関	特定非営利活動法人 シニアライフ情報センター

(2) 評価講評

特に良いと思う点		
1	タイトル	密な連携により、同一敷地内で最期まで住み続けられる体制が整えられ、利用者に安心感を与えている
	内容	法人は85年におよぶ長い歴史があり、総合老人福祉施設としての特性を踏まえ、松風園の利用者が極力園内で最期まで住み続けられるよう配慮している。介護が必要になると、介護保険サービスを導入し、それ以外の時間帯の支援や夜間の見守りは事業所の職員が行い、介護施設が利用できるまで事業所で生活を支えている。また、住み替えがスムーズにいくよう法人内の施設間連携を密にする一方、組織として納骨堂も用意してあるので、利用者には最後まで法人内で過ごすことができるという安心感を与えている。
2	タイトル	利用者の意見に耳を傾ける積極的な姿勢が伺える
	内容	職員は利用者の声に耳を傾けるよう、日頃から積極的に声がけをし、利用者からも話しやすい雰囲気があるという声が聞かれている。また、日頃の意見は、共同スペースに設置している「ご意見箱」や、毎月1回開催される「利用者懇談会」などがある。中でも「食事懇談会」は、直意見が反映され、「おいしい」と言った成果につなげている。さらに今年度は利用者と第三者を交えた「座談会」を設定、より良いサービス提供につなげていこうという真摯な姿勢が伺える。
3	タイトル	地域と協働し連携する体制がある
	内容	法人の基本方針に「地域の協働と連携」を掲げており、杉並区と協働して様々な取り組みを行っている。例えば、ケアスクールが企画する予防介護セミナーや傾聴やヘルパーなどの人材養成には多くの住民が参加している。また、附属する認知症介護研究センターでは、認知症介護家族会に向けた認知症対応セミナーを開催するなど、専門性を活かした取り組みも行われ、地域の福祉環境を高め、利用者のみでなく住民が安心して暮らせる街づくりに大きく貢献している。

さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	事業所の方向性を明確にし、具体的な中・長期計画の策定が求められる
	内容	法人の中・長期計画や年度計画は示されているが、それに基づいた実施計画・手順・見直しの時期などについては明確になっていない。また、事業所も中長期計画は策定されておらず、年度計画も法人に準じた内容になっている、築後26年を経過する松風園は老朽化も進み、ケアハウスへの転換なども話題に上っており、利用者の間では、今後の暮らしについて不安の声も聞かれている。軽費老人ホームの特性や実態を踏まえ、長期的な展望と具体的な計画に向けての取り組みが必要ではないかと思われる。
2	タイトル	資料や記録の整理、分析を行い、日常の活用に結び付ける対応が望まれる
	内容	法人では各種委員会が設定され、安全・危機管理等に関するマニュアルは作成されているが、個々の職員の業務に反映されるまでには至っていない。また、事業所には様々な記録・資料等は紙媒体で蓄積しファイルされているが、大量の資料の中で、ほしい情報がすぐに見つかる状況ではなく、運営に活用できているとは言い難い。資料や記録の整理・分析を行い、マニュアルや用紙フォーマットはサービス提供現場に合わせた内容に更新するなど、今後の運営や活用に結び付けられるような対応が望まれる。
3	タイトル	運営についての懇切丁寧な説明努力を期待する
	内容	同事業所では利用者の満足いく暮らしに向けて、さまざまな場で要望や意見を聞く機会を設けている。今年度は新たに、第三者と利用者が本音で話し合う座談会も行われるなど、利用者のニーズを受けとめたいという真摯な姿勢が伺える。一方、利用者からは「意見が運営に反映されない」といった厳しい声も聞かれており、できることとできないことについての理解を得られるよう懇切丁寧な説明努力が必要と思われる。

(3) 事業評価

事業評価項目	評価結果
	今年度
I 経営マネジメント項目	
1 事業所が目指していること（理念、基本方針）を明確化・周知している	A
2 経営層は自らの役割と責任を職員に対し表明し、事業所をリードしている	A
3 重要な案件について、経営層は実情を踏まえて意思決定し、内容を関係者に周知している	A
4 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理等を周知している	A
5 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し透明性の高い組織	A
6 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある	A
7 ボランティア受入れに関する基本方針を明確にし、体制を確立している	A
8 地域の関係機関との連携を図っている	A
9 利用者一人ひとりの意向（意見・要望等）を多様な方法で把握し、迅速に対応している	A
10 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取組んでいる	A+
11 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している	A+
12 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している	A
13 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している	B
14 着実な計画の実行に取組んでいる	B
15 利用者の安全確保・向上に計画的に取組んでいる	A+
16 事業所にとって必要な人材構成にしている	A
17 職員の質の向上に取組んでいる	A
18 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取組んでいる	A+
19 職員のやる気向上に取組んでいる	A+
20 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取組んでいる	B
21 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	A
22 前年度と比べ、次の部分について、改善を行い成果が上がっている ①リーダーシップと意思決定 ②経営における社会的責任 ③計画の策定と着実な実行	A
23 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	A
24 前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面で向上している	B
25 事業所の財政等において向上している	A
26 前年度に比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している	A

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目

1	利用者等に対してサービスの情報を提供している	A
2	サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている	A
3	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	A
4	定められた手順に従いアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示	A
5	利用者の希望と関係者の意見を取り入れた個別支援計画を作成している	B
6	利用者に関する記録が行われ、管理体制が確立している	A
7	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している	A
8	利用者のプライバシー保護を徹底している	A
9	サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している	A
10	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	B
11	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	B
12	さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	A
13	個別支援計画に基づいて自立生活が営めるよう支援している	A
14	食事は、利用者の状態や要望を反映したサービスを行っている	A+
15	入浴の支援は、利用者の状態や意思を反映して行っている	A
16	利用者が主体的に健康管理や介護予防に取り組むための支援体制を整えている	A
17	日常生活では、利用者の状態や意思を反映した支援を行っている（食事・入浴以外）	A
18	利用者の生活が健康で明るくなるよう、施設の生活に工夫をしている	A
19	施設と家族との交流・連携を図っている	A
20	地域との連携をもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている	A

(別表2)

## 主要行事实施状況

月	日	行事等	月	日	行事等	月	日	行事等
4	2	お花見大会	8	6	納涼祭	12	3	餅つき大会
	9	誕生会		11	誕生会		10	誕生会
	16	食事懇談会		15	園内映画会 1日目		15	食事懇談会
	18	園内映画会 1日目		16	園内映画会 2日目		17	年忘れ演芸大会
	19	園内映画会 2日目		13	食事懇談会		19	園内映画会 1日目
	22	利用者懇談会		25	利用者懇談会		20	園内映画会 2日目
	23	防災会議		27	防災訓練		21	柚子湯
	28	高尾霊園参拝		9	3		誕生会	24
5	2	新茶の会	7		区・敬老式典	24	クリスマスイブ	
	4	菖蒲湯	17		食事懇談会	22	利用者懇談会	
	5	端午の節句	20		敬老式典・保証人懇談会	31	大晦日	
	7	誕生会	24		防災訓練	1	1	元旦式典・祝い膳
	10	母の日	26		園内映画会 1日目		7	七草
	16	園内映画会 1日目	27		園内映画会 2日目		7	誕生会
	17	園内映画会 2日目	29		利用者懇談会		11	鏡びらき
	14	食事懇談会	10	1	共同募金		14	食事懇談会
26	利用者懇談会	3		十五夜	15		浴風会創立記念日	
28	松風園開園記念日	8		誕生会	16		園内映画会 1日目	
29	防災訓練	9		浴風会総合防災訓練	16		園内映画会 2日目	
6	4	誕生会		13	食事懇談会	19	利用者懇談会	
	13	園内映画会 1日目		17	園内映画会 1日目	28	防災訓練	
	14	園内映画会 2日目		18	園内映画会 2日目	2	3	節分
	17	食事懇談会		27	利用者懇談会		4	誕生会
	18	甘味喫茶	28	園企画一泊旅行	8		針供養	
	21	父の日	29	園企画一泊旅行	16		抹茶の会	
	23	利用者懇談会	11	10	誕生会		23	利用者懇談会
	30	防災訓練		11	園企画お食事会(出張)①		25	防災訓練
7	2	誕生会		13	食事懇談会		26	食事懇談会
	6	アトラクション大会		14	園内映画会 1日目		3	3
	7	七夕飾り		15	園内映画会 2日目	4		誕生会
	18	園内映画会 1日目		16	園企画お食事会(出張)②	13		園内映画会 1日目
	19	園内映画会 2日目		24	利用者懇談会	14		園内映画会 2日目
	19	土用の丑の日		25	文化祭・ボラ連絡会	18		食事懇談会
	21	食事懇談会	30	防災訓練	18	防災訓練		
	28	利用者懇談会			23	利用者懇談会		
30	防災訓練			24	医療講話			

(別表3)

### ク ラ ブ ・ 同 好 会 開 催 状 況

ク ラ ブ 名	開 催 回 数
カ ラ オ ケ	9
コ ー ラ ス	19
民 謡	17
民 舞	43
詩 吟	14
卓 球	47
生 花	22
カ メ ラ	12
墨 絵	12
ゲ ー ト ボ ー ル	51
フ ォ ー ク ダ ン ス	25
気 功	44
囲 碁	38
大 正 琴	55
社 交 ダ ン ス	48
麻 雀	103
杖 道	同好会
歌 お う 会	浴風園クラブに参加
陶 芸	浴風園クラブに参加
絵 手 紙	浴風園クラブに参加
器 楽	浴風園クラブに参加

(別表4)

## 公演等招待・来訪者

日付	招待者	公演等内容
4月24日	東京善意銀行	「クラウンのいる風景 一思い出のカケラー」
5月25日	東京善意銀行	「舞踏華扇会 第40回記念 春の会」
5月30日	東京善意銀行	「輝生会舞踏会」
6月13日	東京善意銀行	「東京リサーチ合奏団 第35回定期演奏会」
6月20日	東京善意銀行	「第11回東京国際ナショナルミニチュアショー」
7月4日	東京善意銀行	杉並区民オペラ第5回公演「ラ・ボエーム」
7月7日	東京善意銀行	「日中友好クラシックコンサート 七夕歌祭」
7月9日	東京善意銀行	「スペイン・ビルバオ交響楽団」
7月12日	東京善意銀行	「三井物産管弦楽団 第12回演奏会」
7月21日	東京善意銀行	「2011ポリショイサーカス」
8月11日	東京善意銀行	「はじめてのクラシック」
8月16日	東京善意銀行	「はたのぼるリサイタル 吹き寄せまして60年」

## 来訪者

5月28日	TAMAKI STUDIO	開園記念日(フラメンコ)
7月6日	マギー司郎	アトラクション大会
8月6日	原郷土会	納涼祭
12月3日	原郷土会	餅つき大会
毎月第2火曜日	構内理容室	理髪
毎月第4火曜日	構内美容室	美容(カットのみ)

(別表5)

## 防災訓練実施状況

月	訓練種別	訓練概要	対象者
4	その他 (防災会議等)	訓練計画について(主旨・内容) 新旧班長・副班長引継ぎ 質疑応答・討議	職員 利用者
5	その他 (防災教育)	防災設備取扱説明	職員
6	その他 (防災教育)	防災自主点検	利用者
7	その他 (防災教育)	防災自主点検 避難通路の安全確認	職員
8	その他 (緊急連絡網)	緊急連絡網伝達訓練	職員
9	避難訓練 (夜間)	夜間実施の避難訓練	職員 利用者
10	その他 (浴風会全体)	浴風会各施設合同訓練 第二南陽園消防演習 防災会議	職員 利用者 警備員
11	その他 (防災教育)	防災講話	職員 利用者
12	その他 (防災教育)	緊急搬送時の居室安全確認	利用者
1	消火訓練 (防災教育)	消火器の取扱方法 (消火器を使用した訓練)	職員 利用者
2	消火訓練 (防災教育)	消火設備の取扱方法 (1号消火栓を使用した訓練)	職員
3	その他 (救命講習)	普通救命講習会 受講	職員



(別表6)

## 外部研修参加状況

開催月	日数	研修名	開催場所	参加者
6月	1	「介護現場におけるスーパービジョン」研修	研究社教育センター	ケアリーダー
6月	1	認知症緩和ケアとタクティールケア	上智大学四谷キャンパス	主任看護師
6月・7月・8月・ 10月・1月	5	高齢者福祉施設におけるサービス マナーリーダー養成研修	研究社英語センター	サブリーダー
6月・7月	3	栄養技術講習会	東京自治会館	栄養士
7月	1	栄養士・調理師研修会	飯田橋レインボービル	栄養士
7月	2	平成21年度「新任職員研修」	東京都社会福祉保健医療 研修センター	ケアワーカー
8月	1	生活相談員研修会	飯田橋セントラルプラザ	相談課長
9月	1	新型インフルエンザ感染予防対策 に関する説明会	東京都社会福祉保健医療 研修センター	看護師
9月	1	福祉施設における防火研修会	東京理科大学森戸記念館	相談課長
9月	2	平成21年度「中堅職員研修」	東京都社会福祉保健医療 研修センター	ケアワーカー
9月	1	アクティブ福祉in東京	京王プラザホテル	ケアリーダー
10月	1	生活相談員研修会	ライトホーム	相談課長
10月	2	「高齢者福祉施設におけるチームマ ネージメントを学ぶ」	奥多摩路	ケアリーダー
10月	1	平成21年度「介護職員における研修会」	トヨタ東京教育センター	ケアワーカー
10月	1	平成21年度「見学・試食研修会」	ホテルニューオータニ本館	栄養士
11月	1	認知症高齢者の生活リズム障害とケア	全理連ビル	看護師
11月	1	東京都老人福祉施設等感染症対策 指導者養成研修	東京都公文書館	相談課長
11月	1	ソーシャルワーク研修会「事例から 見えてくるもの学ぶもの」	新宿NSビル	相談員
12月	1	生活相談員研修会	あたご苑	相談課長・相談員
1月	1	介護現場におけるスーパービジョ ン・フォローアップ研修	飯田橋レインボービル	ケアリーダー
1月	1	杉並区集団給食研究会 合同勉強会	杉並保健所	栄養士
1月	3	第66回全国老人福祉大会 千葉大会	幕張メッセ	園長
1月	1	介護予防のための楽しみながらでき るリハビリテーション	東京YMCA会館	ケアワーカー

1月	1	高齢者福祉施設におけるリスクマネジメントに関する研修会	フィオーレ東京	相談員
2月・3月	4	平成21年度第二回栄養技術講習会	東京自治会館・織田調理師専門学校	栄養士
2月	1	共に育つ・コミュニケーション研修	飯田橋レインボービル	相談員
2月	1	生活相談員研修会	飯田橋セントラルプラザ	相談課長
2月	1	労務管理に関する研修会	飯田橋レインボービル	相談課長
2月	1	平成21年度介護における事故防止研修	東京都公文書館	看護主任・ケアリーダー
3月	1	褥瘡ケアの基本と最新の褥瘡局所療法	研究社英語センター	看護師
3月	1	平成21年度生活相談員研修委員会全体会	飯田橋レインボービル	相談員
3月	1	「社会福祉施設における情報管理ガイドライン」研修会	日本教育会館 一ツ橋ホー	ケアワーカー
計	46			34名

## 第 4 節 浴風会ケアハウス事業報告

浴風会ケアハウスの事業運営については、平成 21 年度事業計画に定めた基本方針に基づき、事業運営の円滑かつ安定化をはかり、利用者が社会の一員として貢献活動に協力し、明るく生甲斐のある生活をお送りいただけるように努めた。特に利用者への食事サービスの提供、社会貢献への協力活動、介護予防の活動に努め、心身の健康を保持し、自立した生活が少しでも長く続けられるよう、生活支援を中心に事業を行った。その結果、概ね所期の事業目標を達成し得たものと考えている。

### 1 利用者の状況について

平成 21 年度末における利用者の状況は、次のとおりである。

利用者定員		100 名
月平均利用人員		99.8 名
平均年齢		82 歳 0 ヶ月
最長在籍年数		13 年 10 ヶ月
75 歳以上		88 名
退園者数		9 名
費用徴収金の	無	0 名
本人負担の有無	有	100 名

現在利用中の利用前居住地は、全て杉並区である。

今年度の新規利用者は 10 名、退園者は 9 名であり、退園理由は、特養 2 名、老健 1 名、有料老人ホーム 2 名、死亡 4 名であった。75 歳以上の後期高齢者は 88 名、その内 90 歳以上が 9 名となっている。最高齢者は 96 歳、最低年齢者は 68 歳であり、開設した平成 8 年度中の新規利用者は、37 名であった。

### 2 施設運営上の重点事項の実施状況について

#### (1) 施設運営について

利用者補充は迅速に対応し利用率の確保に努めた。利用者からの負担金収入並びに軽費老人ホーム事務費補助金等による施設運営費は安定し、適切な会計処理が行われた。また利用者全体会、食事懇談会、階別懇談会等の利用者からの意見を考慮し施設運営に努めた。

## (2) 自立生活の支援

ゲートボール、フラダンス等のサークル活動、自主旅行や麻雀、カラオケ、卓球等の趣味活動を交流の場として参加を呼びかけた。

体力の低下による閉じこもり対策として実施した「映画鑑賞会」に延 127 名、「歩こう会」に延 104 名、手作り教室に延 59 名、フラワーアレンジメントに延 61 名の参加があった。12 月からは新たな企画として「買物同行会」を実施し、延 15 名が参加された。毎月実施の誕生会は、旭鮪総本店下高井戸本店での外食とし、69 名の参加があった。また、10 月に行った富士サファリパーク・富士山資料館への日帰りバスハイクでは、職員 4 名が付き添い 18 名の利用者が参加され、できるだけ長く自立した生活ができるよう支援に努めた。

## (3) 介護予防について

介護予防の働きかけとしては、ストレッチ体操を中心とした機能トレーニング 47 回延 713 名、筋力アップトレーニング 49 回延 343 名が参加した。

## (4) 個別支援計画表について

5 月から 7 月にかけて利用者全員を対象に、身体状況、家事援助、生活援助状況等について、個別面接による聞き取り調査を行い、個別支援計画の作成および見直しを行った。

## (5) 介護保険認定者への対応について

介護申請が必要と見られる利用者には、要介護認定の申請を勧めるとともに、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携して、介護予防サービスや介護保険サービスを利用できるよう対応した。今年度新規に要介護認定調査を受けた利用者は 6 名で、年度末の要介護者の状況は、要支援 1 が 8 名、要支援 2 が 12 名、要介護 1 が 4 名、要介護 2 が 2 名、要介護 5 が 1 名であった。

## (6) 家族、地域との交流について

11 月 7 日の保証人会は、48 世帯、53 名の出席があり、全体会形式で開催した。前年度の事業報告、今年度事業計画、軽費老人ホーム設備及び運営に関する基準、利用者状況、夜間救急診療の対応等について園長より説明した。なお希望された 5 家族との個別面談を行い、利用者の状況について説明を行った。

7 月の納涼祭では、高井戸こだま会による和太鼓演奏が披露され、近所の方も楽しまれた。

(7) 地域貢献について

集めたベルマークを富士見丘小学校生徒代表に、また、世界の子供達にワクチンを届ける「エコキャップ活動」では、収集したペットボトルのキャップを上水保育園児に手渡した。

使用済み切手の収集については、今年度も継続して実施した。

(8) 不安の解消について

利用者の病気等不安を解消するため、嘱託看護師による階別医療懇談会が 35 回開催され、延 190 名が参加した。相談の内容としては、脱水や骨粗しょう症等の疾病、精神的な悩み、区民検診の検査データ等に関してであった。

(9) 第三者評価について

今年度も昨年に引き続き「株式会社ハンドワークス」により、福祉サービス第三者評価を受審し、(別表 1) の評価結果であった。なお、利用者の聴き取り調査では 87 名の利用者に協力をいただいた。

(10) 老人福祉事業三施設連絡会について

老人福祉事業の制度改革に対処する為に、問題意識を高め、施設間での情報交換を目的とし、今年度は三施設合同職員提案制度、食事問題、資金運用等についての検討を行った。

(11) 経営の安定について

空居室の利用者補充は迅速な対応に努め、利用率は 99.8%であった。また、節約意識を持って、全職員が光熱水費等の経費節減に努めた。

### 3 事業の実施体制について

職員体制は、園長、相談員、事務員、栄養士各 1 名、ケアワーカー 3 名と契約看護師 1 名を加えた計 8 名で事業運営にあたった。なお、調理員は日清医療食品(株)に業務委託しているため含まれていない。

勤務体制は、ケアワーカーは平常時間と 10 時 30 分から 19 時までの遅出の二体制で、昼・夕食の見守りや配薬、配膳、居室配食を行った。なお朝食については早出パートに依頼した。

土曜日勤務は園長を含めた体制とし、日曜日、祝日は従来どおりの一人勤務で、始業 9 時から業務終了時刻 19 時とし、時間外手当を支給した。

## 4 利用者サービスについて

### (1) 食事の提供について

献立作成・調理管理は栄養士があたり、調理は日清医療食品に委託し食事の提供を行った。食事時間は朝食 7 時 30 分、昼食 12 時 00 分、夕食 18 時 00 分より各 1 時間設け、ゆっくり食事のできる環境作りに努めた。

今年度も、花見会、開園記念日、敬老の日及び正月三が日は祝膳を用意し、3 月 3 日には握り寿司を提供した。また、年 2 回のバイキング（暑気払い、紅葉狩り）や年末にはもちつき会を実施し、利用者に好評であった。

給食委託業者と毎月 1 回食事懇談会を行い、延 50 名からの意見を直接聞き、食事サービスの改善、向上に努めた。また、残菜調査は毎日行い、11 月 24 日から 5 日間にわたり嗜好調査を実施した。

朝食の米飯またはパン食の選択制、昼食の主食選択制（米飯、麺）は、今年度も継続実施した。また、月 1 回昼食時に選択食を実施し、嗜好にあった食事の提供に努めた。

有料アラカルトメニュー（納豆、豆腐、温泉卵の 3 種 3 食）も引き続き実施した。

体調不良、歯科治療中等の理由で粥食を希望する利用者は常時 1～15 名、肉、野菜、果物等の刻み食希望者は常時 15～18 名、極刻み食希望者は常時 0～1 名おり、希望にあった食事を提供した。

### (2) 健康管理について

今年度入院した利用者は延 25 名、入院日数延 1,269 日で、年度末における入院者は、女性 3 名であった。

健康管理は自主管理を原則としているが、杉並区の「区民健康診査」を浴風会病院が受託実施しているので、利用者全体会の場で検診を受けるように勧奨し、検診結果の提出をお願いした。

健康チェックは毎月 2 日間行い、利用者の血圧、脈拍、体温、体重測定を実施した。また、薬の自己管理が不安な方には職員による配薬介助を行った。

### (3) 感染症の予防について

利用者に対しては、新型及び季節性インフルエンザ、ノロウイルス等に対する注意を喚起し、予防接種の受診、外出時のマスク使用、帰園時のうがい手洗

いを奨励した。施設としては、11月には新たに玄関脇に電解水洗面台を設置すると共に、感染拡大防止のためのマスク、消毒液の確保とエレベーター押しボタンや食堂扉の取っ手等の消毒を実施した。その結果、インフルエンザ等感染症罹患者はゼロであった。

#### (4) 自立支援について

利用者が自立した生活を長く続けられるよう、各種活動、機能トレーニング、筋力アップトレーニングを実施すると共に、サークル活動を奨励した。杉並区で実施している介護予防や浴風会主催の講演会、善意銀行の招待等についての情報提供に努めた。

#### (5) 衛生管理について

4月と10月に全居室、厨房のゴキブリ駆除を実施した。また、12月に各階廊下、共有スペース、屋内階段のワックス掛けを行い衛生維持に努めた。

3月には、糞害対策の為、施設北側壁面の鳩飛来防止工事を施行した。

毎月の環境整備は利用者の協力を得て、職員がゴミ置き場も含めた建物周辺の清掃を行い、今年度は12回、延108名により行った。

土曜・休日勤務の際は全職員が配食等の業務に携わるため、毎月細菌検査を実施した。

#### (6) 生活支援について

生活支援サービスとしての各種相談、利用者の健康管理、見守り、仲介・情報提供、人間関係調整、緊急時の対応等に努めた。

今年度末の介護及び予防給付を受けられる利用者は27名で、要介護度が決まったが給付を受けていない利用者は8名であった。受けている給付の内容は、訪問介護16名、通所介護1名、訪問看護2名であった。また、杉並社協ささえあいサービスのヘルパー派遣を利用している利用者は2名であった。

#### (7) 趣味・サークル活動等について

利用者には、東京善意銀行からのコンサート等の招待に関する情報を40件提供し、施設外への趣味活動に71名が参加した。

利用者の自主運営により行われているフラダンス等のサークル活動場所の借用援助等を行った。さらに、趣味活動として、麻雀同好会やカラオケ、卓球等の募集ポスターの掲示や活動場所の確保に努めた。

(8) 年間行事等について

平成 21 年度の年間行事等の実施状況は、(別表 2) のとおりである。

- |          |    |         |                |
|----------|----|---------|----------------|
| ① 誕生会    | 毎月 | 第 3 水曜日 | (旭鮎絵本店 下高井戸本店) |
| ② 歩こう会   | 毎月 | 1 回     |                |
| ③ 利用者全体会 | 毎月 | 第 3 金曜日 |                |
| ④ 階別懇談会  | 毎月 | 最終水曜日   |                |
| ⑤ ビデオ鑑賞会 | 毎月 | 第 4 月曜日 |                |

浴風園集会室を利用して利用者のために「映画鑑賞会」を毎月の 12 回開催し、延 137 名が参加した。

⑥ 勉強会について

今年度の勉強会として、8 月には清掃事務所職員の協力によりゴミの分別方法について、9 月には看護師による脱水についての勉強会を開催し、延 84 名が参加した。

⑦ 買物同行会

12 月より、一人で外出することが不安な利用者のために、毎月 1 回施設近辺のスーパー等まで職員が同行する「買物同行会」を実施した。計 4 回の実施で、延 15 名が参加した。

(9) 個別支援について

利用者サービスについては、毎日朝と夕刻にミーティングを実施、定期的にケース会議を開催して、職員が共通認識をもって、適正なサービスが行えるように努めた。また、個別支援の充実を図るため、個別面接および支援計画表の様式の見直しを行った。

(10) 園内誌「ケアハウス便り」について

「ケアハウス便り」は、毎月 15 日に発行 (No97~No108 号) し、2 ヶ月ごとに保証人へ送付した。

(11) 水道料金の共同住宅扱い適用について

8 月に事業所と利用者居室部分の水道管区分工事を施工し、「社会福祉施設における水道料金に係る共同住宅扱い適用」の申請を行った。これにより、8 月分より利用者の水道料金が平均約 70%削減された。

## 5 苦情対応について

エレベーターに設置された「ご意見箱」による要望・苦情等は12件、利用者からの苦情相談は7件であった。これらについて、利用者全体会での説明や関係者に直接注意する等、迅速な対応を行った。

## 6 職員研修について

職員の資質向上を図るため、東京都社会福祉協議会、全国老人福祉施設協議会等が主催する各種研修会に延31名を参加させた。(別表3)

また、ケアスクール等が主催する法人内研修に延15名を参加させた。(別表4)

## 7 諸会議の開催について

利用者全体会	12回
食事懇談会	12回
階別懇談会	10回
職員会議	8回
ケース会議	8回
階別医療懇談会	35回

## 8 待機者の状況について

平成22年3月末日の入居待機者数

1人部屋 425名(杉並区内408名、区外17名)

2人部屋 125組250名(杉並区内120組240名、区外5組10名)

## 9 実習生の受け入れについて

(1) 東京家政学院大学より4名を調理実習として受け入れた。

平成21年9月7日、9月14日～16日 各1名

(2) 昭和女子大学より8名を調理実習として受け入れた。

平成21年8月18日～21日 各1名

平成21年8月25日 4名

(3) 女子栄養大学より7名を調理実習として受け入れた。

平成21年9月29日～10月2日、11月2日～11月4日 各1名

## 10 防災対策について

利用者が安心して日々の生活を過ごせるように、利用者で燈明、線香、喫煙等の火気を使用している居室を7月23日に訪問し、点検と確認を行った。また、厨房内火気点検に関しては、クロージングチェック表により行った。

なお、火災、地震、応急救護の対応について、下記の訓練を実施した。

- |     |  |
|-----|--|
| 4月  | 避難放送訓練                                     |
| 5月  | 日中火災想定避難訓練                                 |
| 6月  | 自主防災点検調査                                   |
| 7月  | 居室内防災立入点検                                  |
| 8月  | 避難放送訓練                                     |
| 9月  | 夜間通報および緊急連絡訓練                              |
| 10月 | 浴風会総合防災訓練（大規模地震に関する警戒宣言発令想定訓練・第二南陽園総合避難訓練） |
| 11月 | 夜間火災発生時の対応に関する机上訓練                         |
| 12月 | 居室内立入点検（緊急時ストレッチャー搬送想定）                    |
| 1月  | 非常放送訓練および非常用備蓄食の調理・試食                      |
| 2月  | 夜間火災発生時の対応に関する机上訓練                         |
| 3月  | 夜間火災想定避難訓練                                 |

消防用設備等点検を平成21年8月7日及び平成22年2月5日にヤマトプロテック株式会社により実施した。

震災時の備蓄食品の中で通常献立にも使用できるビーフカレーや缶詰類等の食品を昼食や夕食時に活用し、新たに利用者定員の3日分を補充した。

(別表1)

### 福祉サービス第三者評価結果

#### (1) 概況

事業評価実施期間	平成21年10月19日～平成22年1月8日
フィードバック	平成21年12月21日
評価機関	(株)ハンドワークス

#### (2) 評価講評

特に良いと思う点		
1	タイトル	法人内各施設・部署との連携による相乗効果大きい
	内容	当施設は、わが国の高齢者福祉事業の中核的施設として歴史がある「浴風会」の1施設である。当施設でも高齢化に伴う病弱化、虚弱化による健康検診、感染症予防など病院受診が必要な利用者が増えている。利用者が受診する医療機関は基本的には利用者の希望する病院となっているが、利用者調査では病気に対する不安の声があり浴風会病院との連携ができることになって不安が払拭されている。また、地域包括支援センターや介護保険事業施設との情報交換等法人内施設との連携が利用者サービスの向上に繋がっている。
2	タイトル	サービスの改善・向上に向けた多様な利用者ニーズの把握の取り組み
	内容	利用者の多岐・多様なニーズに応えるためさまざまな形で利用者意向の把握に努めている。毎月実施する利用者全体会、階別懇談会での利用者からの意見等の吸い上げ、月1回利用者各階代表委員と食事に関して意見交換する食事懇談会、また、毎週開催して利用者の健康状態の把握や疾病予防に対する助言など階別医療懇談会、意見箱の設置、さらには利用者へのアンケート実施など多種多様に渡って利用者の意向を把握する機会を設けている。集約した利用者の意見・意向は、職員会議や苦情解決委員会等で検討し、サービスの改善・向上に繋がられている。
3	タイトル	歴史ある土壌に裏打ちされた職員の接遇
	内容	大正14年浴風会が設立され85年が過ぎようとしている。老人福祉事業の中に当施設は位置する。今後経営の安定も職員にも課せられる中、毎日のように見学者が訪れ、現在待機者は数百名に上る。他施設と比較して、環境、価格、個室浴室付等勝っているうえに、職員の福祉に対する姿勢や考え方が法人ケアハウスの理念と合致し、一貫して受け継いでいる教育の徹底が慮られる。職員の評判は大変良く、施設内の清潔さ、安全性、職員の接遇に相応して入居者の身だしなみの良さ、表情の明るさは、環境、人的、設備面等で評価される。

さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	地域とのさらなる連携と交流を
	内容	ベルマーク、エコキャップや使用済み切手の収集活動等を通じて地域小学校、保育園等との交流は図られている。近隣地域には、毎月広報誌「浴風会」が町会を通じて住民に配布され啓蒙活動が行われているが具体的な交流は低調である。「地域社会との協働と貢献」が基本方針として掲げられており、ボランティアの受け入れや有している機能や専門性を活かした多様な交流が望まれる。現在、施設周辺の住民を対象に「浴風会事業に関する住民意識調査」が行われており、より一層の連携が期待される。
2	タイトル	利用者の実情に即した対応方法や夜間等職員不在時のさらなる対応方法の取り組みを
	内容	夜間等職員不在時の場合には、警備員の配置や利用者の病歴・かかりつけ医・内服薬等の情報が記載されている緊急対応ノートが作成されており、利用者の急変時に対する対応体制が整えられている。しかし、利用者アンケートからは、半数近くの利用者から職員が不在する夜間・休日等の病気やケガ等に対する緊急対応への不安を感じていることが伺える。現状、自立から要介護に移行する利用者も増えており、食事の際の誤嚥や認知症に対する行動理解等利用者の実情に即したさらなる対応方法の検討など必要と思われる。
3	タイトル	入居者の高齢化による、認知症やADL低下への不安、改善策の準備を
	内容	利用者調査時、相手の会話内容が理解出来ず、対人関係に苦しむ人が昨年より多く見られ、相手の一挙一投足に胸がドキドキするとの声もあった。精神的、認知的症状が年と共に加わり、職員の対応や声かけが、個人の一日の気分の良し悪しに影響を及ぼす日も間近いと考えられる。少ない職員でプラスαの仕事が加わった時、現在と同じサービスの提供が変わりなくなされる為には、外部のボランティアや非常勤の雇用等、積極的に勧められる事、又、認知症研究所の隣接もあり、職員、利用者共々講習会の参加等今後の課題として期待する。

(3) 事業評価

事業評価項目	評価結果
<b>I 経営マネジメント項目</b>	
1 事業所が目指していること（理念、基本方針）を明確化・周知している	A
2 経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対し表明し、事業所をリードしている	A
3 重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、内容を関係者に周知し	A
4 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理等を周知している	A
5 第三者評価の結果公表、情報開示等により、地域社会に対し透明性の高い組織となっている	A
6 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある	A
7 ボランティア受入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している	A
8 地域の関係機関との連携を図っている	A
9 利用者一人ひとりの意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応している（苦情解決	A
10 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	A
11 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している	A
12 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している	A
13 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している	A
14 着実な計画の実行に取り組んでいる	A
15 利用者の安全確保・向上に計画的に取り組んでいる	A
16 事業所にとって必要な人材構成にしている	A
17 職員の質の向上に取り組んでいる	A
18 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	A
19 職員のやる気向上に取り組んでいる	A
20 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	A
21 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	A
22 前年度と比べ、次の部分について、改善を行い成果が上がっている ① リーダーシップと意思決定 ② 社会的責任 ③ 計画の策定と実行	A
23 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	A
24 前年度と比べ、サービス提供プロセスや情報保護・共有の面で向上している	A
25 事業所の財政等において向上している	A
26 前年度に比べ、利用者満足度や利用者意向の把握等の面で向上している ① 利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用	A

Ⅱ サービス提供のプロセス項目	
1 利用者等に対してサービスの情報を提供している	A
2 サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている	A
3 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	A
4 定められた手順に従いアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示	A
5 利用者の希望と関係者の意見を取り入れた個別支援計画を作成している	A
6 利用者に関する記録が行われ、管理体制が確立している	A
7 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している	A
8 利用者のプライバシー保護等個人の尊厳の尊重	A
9 サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している	A
10 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	A
11 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	A
12 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	A
13 個別支援計画に基づいて自立生活が営めるよう支援している	A
14 食事は、利用者の状態や要望を反映したサービスを行っている	A
15 入浴の支援は、利用者の状態や意思を反映して行っている	A
16 利用者が主体的に健康管理や介護予防に取り組むための支援体制を整えている	A
17 日常生活では、利用者の状態や意思を反映した支援を行っている（食事・入浴以外）	A
18 利用者の生活が健康で明るくなるよう、施設の生活に工夫をしている	A
19 施設と家族との交流・連携を図っている	A
20 地域との連携をもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている	A

(別表2)

## 平成21年度 年間行事実施状況

月	日	行事等	月	日	行事等	月	日	行事等	
4	3	お花見会	8	6	健康チェック	12	3	健康チェック	
	6	歩こう会		7	健康チェック		4	健康チェック	
	8	食事懇談会		12	食事懇談会		9	防災訓練(居室点検)	
	9	健康チェック		19	手作り教室		11	もちつき会	
	10	健康チェック		20	環境整備		16	誕生会	
	15	誕生会		21	利用者全体会			食事懇談会	
	16	環境整備		24	歩こう会		17	環境整備	
	17	利用者全体会		25	暑気払いバイキング		18	利用者全体会	
	22	手作り教室		26	階別懇談会5階		22	手作り教室	
	23	防災訓練			誕生会		25	歩こう会	
27	映画鑑賞会	27	防災訓練	28	映画鑑賞会				
5	7	健康チェック	9	31	映画鑑賞会	1	1	元旦	
	8	健康チェック		3	健康チェック		5	歩こう会	
	13	食事懇談会		4	健康チェック		7	健康チェック	
	15	利用者全体会		9	食事懇談会		8	健康チェック	
	21	環境整備		15	敬老の日祝膳		13	食事懇談会	
	25	映画鑑賞会		16	歩こう会		15	利用者全体会	
	26	手作り教室		17	環境整備		20	誕生会	
	27	誕生会		18	利用者全体会		21	環境整備	
		階別懇談会2階		24	防災訓練		22	買物同行会	
	28	防災訓練		28	映画鑑賞会		25	映画鑑賞会	
29	歩こう会	29	手作り教室	26	手作り教室				
6	1	開園記念日	10	30	誕生会	2	27	階別懇談会4階	
	4	健康チェック			階別懇談会6階		28	防災訓練	
	5	健康チェック		1	共同募金		3	節分会	
	10	食事懇談会			健康チェック		4	健康チェック	
		誕生会		2	健康チェック		5	健康チェック	
	12	利用者全体会		9	総合防災訓練		10	食事懇談会	
	17	手作り教室		14	食事懇談会		15	手作り教室	
	18	環境整備		15	環境整備		18	環境整備	
	22	映画鑑賞会		16	利用者全体会		19	利用者全体会	
	24	階別懇談会3階		21	手作り教室			鍋会	
25	防災訓練	23	歩こう会	22	映画鑑賞会				
26	歩こう会	26	映画鑑賞会	24	誕生会				
7	2	健康チェック	11	28	誕生会	3	25	階別懇談会5階	
	3	健康チェック			階別懇談会2階		25	買物同行会	
	8	食事懇談会		30	バスハイク			防災訓練	
	10	歩こう会		5	健康チェック		26	歩こう会	
	16	納涼花火会		6	健康チェック		3	3	ひな祭り・寿司の日
	17	利用者全体会		7	保証人会			4	健康チェック
		環境整備		11	食事懇談会			5	健康チェック
	22	誕生会		18	手作り教室			10	食事懇談会
	25	防災訓練		19	環境整備			17	手作り教室
	27	映画鑑賞会		20	利用者全体会			18	環境整備
29	階別懇談会4階	24	映画鑑賞会	19	買物同行会				
	手作り教室	25	誕生会	24	誕生会				
			誕生会	25	利用者全体会				
		26	防災訓練	26	歩こう会				
			紅葉狩りバイキング	30	防災訓練				
				31	階別懇談会6階				

(別表3)

## 平成21年度 外部研修参加実績表

研修期間	日数	研修名	開催場所	主催	参加者	
4・10	1日	高齢者施設福祉部会 軽費分科会	飯田橋セントラルプラザ	東社協	園長	1名
4・28	1日	杉並防火管理研究会定時総会	新東京会館	杉並防火管理研究会	相談員	1名
6・2	1日	防火防災管理講習	東京消防庁消防技術試験講習場	東京消防庁	相談員	1名
6・11	1日	高齢者施設福祉部会 軽費分科会	飯田橋セントラルプラザ	東社協	園長	1名
6・17	1日	防火防災管理講習	立川都民防災教育センター	東京消防庁	園長	1名
6・18	1日	高齢者施設福祉部会 生活相談員研修会	飯田橋セントラルプラザ	東社協	相談員	1名
6・24	1日	全国軽費老人ホーム協議会「総会並びに記念講演会」	全国軽費老人ホーム協議会	東海大学校友会館	園長	1名
6・25	1日	大量調理衛生管理マニュアルの改正について	杉並保健所	杉並区集団給食研究会	栄養士	1名
6・26	1日	栄養技術講習会 社会に求められる栄養士になろう	東京自治会館	東京都施設給食協議会	栄養士	1名
6・30, 7・1	2日	第45回関東ブロック老人福祉施設研究総会 第8回かながわ高齢者福祉研究大会	パシフィコ横浜会議センター	関東ブロック老人福祉施設連絡協議会	ケアワーカー	1名
7・7	1日	栄養技術講習会 社会に求められる栄養士になろう	東京自治会館	東京都施設給食協議会	栄養士	1名
7・14	1日	高齢者施設福祉部会 軽費分科会	メトロポリタンホテル	東社協	園長	1名
7・15	1日	栄養技術講習会 社会に求められる栄養士になろう	東京自治会館	東京都施設給食協議会	栄養士	1名
8・26	1日	高齢者施設福祉部会 生活相談員研修会	飯田橋セントラルプラザ	東社協	相談員	1名
9・8	1日	防火研修会「高齢者施設の火災安全確保について考える」	東京理科大学森戸記念館第一フォーラム	日本防火技術者協会	相談員	1名
9・11	1日	高齢者施設福祉部会 軽費分科会	飯田橋セントラルプラザ	東社協	園長	1名
9・25	1日	フードシステムソリューション2009	東京ビッグサイト	フードシステムソリューション実行委員会	栄養士	1名
10・2	1日	高齢者施設福祉部会 生活相談員研修会	東京都同胞援護会ライトホーム	東社協	相談員	1名
10・15	1日	高齢者施設福祉部会 軽費分科会	メトロポリタンホテル	東社協	園長	1名

10・22	1日	ホテルニューオータニ「コンポストプラント」の見学	ホテルニューオータニ	HOTEL NEW OTANI HYBRID HOTEL PROJECT	栄養士	1名
11・17	1日	高齢者施設福祉部会 軽費分科会	浴風会ケアハウス	東社協	園長 相談員	2名
11・18	1日	日清医療食品株式会社食材展示会	東京国際フォーラム	日清医療食品	栄養士	1名
11・25	1日	アグロ・イノベーション2009	幕張メッセ	日本能率協会	栄養士	1名
12・23	2日	全国老人福祉施設研究会議	鹿児島アリーナ マリンパレスかごしま	全老施協	相談員	1名
12・4	1日	高齢者施設福祉部会 生活相談員研修会	あたご苑ケアハウス	東社協	ケアワーカー	1名
1・8	1日	高齢者施設福祉部会 軽費分科会	飯田橋セントラルプラザ	東社協	園長	1名
1・26	1日	全国老人福祉施設大会	幕張メッセ	全老施協	園長	1名
2・18	1日	高齢者施設福祉部会 生活相談員研修会	飯田橋セントラルプラザ	東社協	相談員	1名
2・26	1日	軽費老人ホーム整備事業説明会	東京都社会福祉保健医療研修センター	東京都福祉保健局	園長	1名
3・9	1日	栄養技術講習会	東京自治会館	東京都施設給食協議会	栄養士	1名
合 計	32日					31名

(別表4)

## 平成21年度 法人内研修参加実績表

研修期間	日数	研修名	開催場所	主催	参加者
6・8,9	2日	階層別研修V	本館第3会議室	ケアスクール	ケアリーダー 1名
6・24	1日	法人・施設としての法令遵守	本館第3会議室	ケアスクール	事務 相談員 2名
7・27	1日	階層別研修IV	本館第3会議室	ケアスクール	ケアワーカー 1名
8・27	1日	知って得する福祉事業者の個人情報保護法のホント!?	認知症介護研究・ 研修東京センター	ケアスクール	相談員 1名
9・24	1日	正確な摂食嚥下の観察評価による口腔機能向上へのアプローチ	認知症介護研究・ 研修東京センター	ケアスクール	ケアワーカー 1名
11・6	1日	階層別研修II	本館第3会議室	ケアスクール	ケアワーカー 1名
11・16	1日	感染予防について	認知症介護研究・ 研修東京センター	ケアスクール	相談員 看護師 2名
1・27	1日	介護職に必要な医学の基礎知識	認知症介護研究・ 研修東京センター	ケアスクール	相談員 1名
3・4	1日	世田谷区立特別養護老人ホームきたざわ苑見学会	特別養護老人 ホームきたざわ苑	ケアスクール	ケアワーカー 1名
3・23	1日	認知症介護・取り組みについて	認知症介護研究・ 研修東京センター	ケアスクール	ケアワーカー 1名
3・25	1日	ケアハウス弘陽園施設見学会	ケアハウス弘陽園	ケアスクール	相談員 ケアワーカー 2名
3・29	1日	実践的マネジメント手法を学ぶ スーパーバイザー養成研修	認知症介護研究・ 研修東京センター	ケアスクール	相談員 1名
合計	13日				15名